

さいたま市の食育取組状況

令和2年度

(2020年4月～2021年3月)

さいたま市

<はじめに>

さいたま市では、市民が食育を通して、心と身体の健康を培い、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育むことを目指して、「第3次さいたま市食育推進計画」に基づき食育を推進しています。令和2年度は、“「確かな目をもって」食べる”を重点目標とし、市民・民間団体・事業者・関係機関・行政等が、連携の強化を図りながら、食育を推進しました。

本冊子は、さいたま市における食育の取組の進行状況の確認、評価を行い、効果的な食育の推進を検討するため、令和2年度の「さいたま市食育推進協議会」及び「さいたま市食育推進担当者会議」において取りまとめた資料をもとに作成しました。市民一人ひとりが、生きていく上で欠かせない大切な“食”について、正しい知識をもち、考え、実践し、伝えていけるよう、さいたま市の食育を推進していくための資料として、ご活用ください。

<冊子の見方>

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”(裏表紙うら参照)の各項目について、講話・実習・体験・啓発等を行った場合は ○

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”で ○をつけた項目について、市民がどう変化したか等、取り組んだ成果を記載

写真や資料を掲載

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」										実績 ○年度		成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題										
協働	(新規)	朝食	食生活 バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳以上			

関係団体、地域・市民、行政等が、対等な立場で連携を図りながら協力して取り組んだ場合は ○

対象としたライフステージに ○

実施した内容を記載

改善すべき点、検討が必要な点等について記載
(終了となる事業については、その理由を記載)

<目次> ※新型コロナウイルス感染症、その他の理由により、全日程が中止になった事業・取組は掲載していません。

- | | | | |
|---|-------------------------------|-------|----|
| 1 | 食育関係団体(さいたま市食育推進協議会委員)の食育取組状況 | | 1 |
| 2 | さいたま市食育関係部局の食育取組状況 | | 6 |
| | 公民館の食育取組状況 | | 20 |
| 3 | 市立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況 | | 28 |

1 食育関係団体（さいたま市食育推進協議会委員）の食育取組状況

- ・さいたま市食生活改善推進員協議会
- ・さいたま市地域活動栄養士会 バランス食の会

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do				Check		取組の様子など					
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和2年度)				成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題													
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	保健センター 事業への協力② (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民 実施回数:2回 参加者数:112人	実施日:令和2年 6月8日、9月1～4日 場所:北区役所保健センター、北区役所1階多目的広場 内容:「ごはんdeカントン! お好み焼き」ホームページアップのための調理、撮影健康ギャラリー支援	市民に発信のホームページアップのための調理、撮影の協力、又、健康に関するクイズや乳がん自己触診の体験促進、健康情報リーフレットの配布等、市民に向けての啓発の協力が出来た。	保健センターの様々な事業に協力し参加者と触れ合い、健康づくりに寄与出来るよう取り組みたい。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	委託事業 埼玉県委託事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:会員 実施回数:2回 参加者数:30人	実施日:令和2年11月19日、12月10日 場所:浦和区岸町公民館、岩槻区本町公民館 内容:米料理教室 講義と調理実習	コロナ禍、厳しい人数制限等が有り、検討を重ね各自自宅で作り写真に収め、料理を持ち寄り意見交換をし、制限されている中、新たな伝達方法の一つかと思いました。埼玉県産米と米粉を使い地産地消の消費拡大に役立てた。	新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立ち次第、地域の食材を使い食育推進活動に努めたい。	
さいたま市 地域活動栄養士会 バランス食の会	料理教室 (ひまわり) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 4回 各回 12人 計 40人	実施日:毎月第一水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 岸町公民館 内容:料理教室・栄養講座	本年度は、コロナ禍の影響で公民館が閉鎖になり予定通りできませんでした。	常に新しい献立や他県の郷土料理や今話題の栄養講座も求められているので、努力して行きたい	
さいたま市 地域活動栄養士会 バランス食の会	料理教室 (食生活講習会) 木曜クラス (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 1回 各回 10人 計 10人	実施日:毎月第二木曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 浦和ふれあい館 内容:料理教室・栄養講座	本年度は、コロナ禍の影響で公民館が閉鎖になり予定通りできませんでした。又ふれあい館が工事の為使用できず、遠かった2回目以降は為休会にしました。	お弁当作り・作り置き惣菜等のヒントやアドバイスを取り入れて、バランスのとれた食生活を簡単に実践して行けるよう手助けをしてゆきたい	
さいたま市 地域活動栄養士会 バランス食の会	料理教室 (食生活講習会) 金曜クラス (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 4回 各回 10人 計 40人	実施日:毎月第二金曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 浦和ふれあい館 内容:料理教室・栄養講座	本年度は、コロナ禍の影響で公民館が閉鎖になり予定通りできませんでした。又ふれあい館が工事の為使用できず、遠かった2回目以降は為休会にしました。	行事食への関心も高く、また同じ食材での応用調理も知りたがっているの進めて参ります。実習希望が高くて、たの機会も紹介して行きたい	
さいたま市 地域活動栄養士会 バランス食の会	料理教室 (男の手料理) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:男性 年 4回 各回 8人 計 32人	実施日:毎月第三水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:料理教室・栄養講座	本年度は、コロナ禍の影響で公民館が閉鎖になり予定通りできませんでした。又上落合公民館が工事の為使用できず、遠かった2回目以降は為休会にしました。	希望のメニューにそって献立作りをしているが、又作りた、もっと作りたを大事にして行きたいと思っている。	

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do				Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和2年度)				成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (らくらくク ッキング)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 4回 各回 15人 計 60人	実施日: 毎月第四水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:料理教室・栄養講座	本年度は、コロナ禍の影響で公民館が閉鎖になり予定通りできませんでした。又上落合公民館が工事の為使用できずに他の施設で実施しました。	話題性・旬・目新しい献立で家族に喜ばれるよう努力して行きたい。栄養に関する新しい知識も勉強して行きたい	
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	—	○	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	油について 学ぼう 栄養講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:バランス食の会会員及び料理教室受講者(男女) 年 1回 計 30人	実施日:10月28日 場所:与野本町コミュニティセンター 内容:栄養講座	本年度は、アマニ油について学びました。油の性質を知り、使用するときの注意点や体にどの様な利点があるかを知ら実際に調理しました。	色々な油の性質を伝えたい	
協働 ○	(新規)	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	彩の国生 きがい大 学調理実 習	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:彩の国生きがい大学受講者 年 3回 各回 25人 計 75人	実施日:6月26日・7月10日・9月25日 場所:伊奈町 埼玉県民活動センター 内容:料理教室・栄養講座	バランスのとれた食事作りと衛生面での注意、食材の下ごしらえからおかずげ迄参加者が協力して上手にできました。一人でもできる事を基本に勉強してもらった。	一人暮らしのヒントとなる献立や、市販の惣菜」の上手な利用方法を伝えて行きたい。	
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	埼玉県米 消費推進 連絡協 会助成事 業(米粉)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:親子 年 1回 計 16人	実施日:8月22日 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:米粉を使った料理教室	米粉を使ってピザ・お菓子・スープを親子で楽しく作りました。特にこねる事は、子供にはたのしかったようです。トッピングも上手にできました。	夏休みの親子対象でしたが、他に時季にも実施してほしいといわれました。食育にとっても良い機会だと思いました。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	埼玉県米 消費推進 連絡協 会助成事 業(米)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:保育園と保育士 年 1回 計 人	実施日:10月25日 場所:さいたま市大宮区 桜花幼稚園 内容:おにぎり教室(自分でお弁当作り)	おにぎりを園児ににぎってもらい、こちらで用意したおかずと共に自分のお弁当箱につめてもらいました。お米の話、親への感謝、栄養の本の読み聞かせも同時におこないました。園児は楽しく残さず食べました。	自分で作り、お弁当箱に詰めて物は、普段は嫌いで食べない物も残さず食べた。簡単に出来る食事作りをもっと広めてゆきたいと思いました。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	日本即席 食品工業 協会(イン スタント ラーメン)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:男女 年 1回 計 24人	実施日:1月22日 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:インスタントラーメンを使った料理教室(アレンジ料理)	普段ラーメンにひと手間加えてバランスのとれた一品になり喜ばれました。備蓄での利用が多くあまり食べてない人が多かったのですが野菜たっぷりなあんかけ、具沢山の塩ラーメンで喜ばれました。	普段、備蓄している食材も上手につかえば立派な食事になります。簡単な利用方法を広めてゆきたいです	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○					

2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況

- ・健康増進課
- ・食品・医薬品安全課
- ・いきいき長寿推進課
- ・地域保健支援課
- ・子育て支援政策課
- ・青少年育成課
- ・保育課
- ・環境創造政策課
- ・資源循環政策課
- ・農業政策課
- ・保健センター共通事業
- ・各区保健センター
- ・健康教育課（教育委員会）
- ・生涯学習振興課（教育委員会）
- ・生涯学習総合センター（公民館の食育取組状況はP20～27）（教育委員会）
- ・防災課
- ・高齢福祉課

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無		事業名 (新規/継続)		Plan										Do			Check		取組の様子など					
				目標 5つの「食べる」										対象ライフステージ			実績 (令和2年度)							
				三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上		対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題	
食品・医薬品安全課	夏の中毒予防対策強化期間の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：市民	実施日：6月～8月(①2020年7月10日(金)付け、②6月29日(月)付け、③6月1日(月)～7月3日(金)) 内容：①市施設で啓発品(800組)配置、②市内小中学校へのリーフレット(75,995枚)及びポスター(1,396枚)配布、③食肉等の処理・販売・提供等を行う施設(89施設)の監視指導、④高齢者、若齢者等の抵抗力の弱い者を対象とした食事を提供する施設(111施設)の監視指導、⑤市報さいたま6～8月号への記事掲載	夏期の食中毒シーズンに合わせて集中的に啓発活動を行うことができた。	より多くの市民に手に取ってもらえるよう、リーフレットやポスターのデザインがわかりやすく、目を引くものになっているが精査する必要がある。	
協働○	(継続)	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
食品・医薬品安全課	冬の食の安全注意報事業の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：市民	実施日：10月～11月(①2020年11月16日(月)、②11月25日(水)付け、③10月30日(金)付け) 内容：①市施設で啓発品(800組)配置、②社会福祉施設等を所管する関係課所へリーフレット(5,250枚)の配布依頼、③大量調理施設(243施設)へのリーフレット配布、④市報さいたま11月号への記事掲載	冬期の食中毒シーズンに合わせて集中的に啓発活動を行うことができた。	市民や各施設に興味を持ってもらえるようなリーフレットになっているが精査する必要がある。	
協働○	(継続)	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
食品・医薬品安全課	食の安全委員会、食の安全対策会議の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	【食の安全委員会】 参加者：委員を委嘱された方 人数：13人 回数：3回 【食の安全対策会議】 参加者：庁内関係課所長 人数：10人 回数：3回	【食の安全委員会】 実施日：2020年10月29日(木)、12月18日(金)、2021年3月17日(水) 場所：大宮区役所、浦和コミュニティセンター、書面開催 内容：食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について 【食の安全対策会議】 実施日：2020年10月7日(水)、12月3日(木)、2021年3月12日(金) 場所：書面開催 内容：食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について	市民の食の安全確保に向けて、食の安全に関する情報共有や意見交換を行い、食の安全基本方針アクションプランや食品衛生監視指導計画に反映した。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、活発な意見交換を行い、施策に反映していく。	
協働○	(継続)	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
食品・医薬品安全課	食の安全基本方針アクションプラン、食品衛生監視指導計画の策定	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：市民	【食の安全基本方針アクションプラン】 案の作成及び昨年度実績確認(～9月)：関係課と調整策定(10月)：食の安全対策会議、食の安全委員会 次年度案の作成(3月)：食の安全対策会議、食の安全委員会 【食品衛生監視指導計画】 次年度案の作成(11月～12月)：関係課と調整 次年度案の作成(12月)：食の安全対策会議、食の安全委員会 意見募集(1月～2月)：各区役所、関係課、ホームページ 策定(3月)：食の安全対策会議、食の安全委員会	食の安全委員会、食の安全対策会議及び意見募集で得られた意見を反映し、策定することができた。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、策定を進めていく。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
食品・医薬品安全課	ホームページ、食育及びSNSを利用した市民への情報提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：市民	実施日：随時 内容：食の安全に関するお知らせ、食品衛生監視指導計画に基づく監視状況等を掲載した。	遅滞なく掲載できた。	今後も継続して情報を掲載していく。 閲覧数を増加させる方法を検討する必要がある。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
いきいき長寿推進課	健口教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：市内在住で、65歳以上の方 実施回数：区ごとに年2コース、1コース3日間開催 参加者：94人	実施日：区ごとに会場及び日時を設定 場所：公民館等 内容：高齢期の栄養や口腔機能、フレイル予防などを、全3回の教室で学びます。 講師：埼玉県栄養士会等から派遣	栄養士による高齢期の食生活やオーラルフレイルに関する講義に加え、食事バランスシートのチェックとフィードバックを行う個別支援も含めた教室を実施した。	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、コース数(2→1コース)、開催日数(3回→2回)、参加人数を縮小し、感染予防対策を講じた上で実施した。	
協働	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○					

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」					実績 (令和2年度)		実績 (令和2年度)										
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題													
地域保健支 援課	健康づくり協 力店普及及促 進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:健康づくり 協力店指定店舗 84店舗	実施日:通年 場所:さいたま市内 内容:新規指定、指定店舗巡回、状況確認アンケート、ポスター作成、市ウェブサイト・ポスターによる情報発信等	・指定店舗が19店舗増加(新規指定23店舗、辞退4店舗)し、市民に健康情報を発信する機会が増えた。 ・新たに健康づくり協力店を紹介するポスターを作成し、各区保健センターに掲示した。 ・市ウェブサイトとポスターを通して本事業を広く周知したことで、指定店舗のPRにつながった。	・指定店舗がバランスメニューの提供や健康情報の発信を適切に実施できるよう支援する必要がある。 ・健康づくり協力店を利用する市民を増やすため、健康づくり協力店のPRを引き続き行う必要がある。 ・市民の健康づくりのための食環境を整備するため、指定店舗数を増やす必要がある。	
子育て支援 政策課	食育に関する 情報の配布、掲示の 協力	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	のびのびルーム 利用者	実施日:不定期 場所:各のびのびルーム 内容:食育に関する情報の配布、掲示	例年は離乳食や幼児向けの食育に関する冊子やチラシの配布、ポスター等の掲示の依頼があった際に、0～2歳児までの親子が利用する「単独型子育て支援センター」や「のびのびルーム」で配布・掲示協力していたが、令和2年度は依頼が無かったため、掲示等の協力は行わなかった。	放課後児童クラブの空き時間を開放するという事業の性質上、ポスター等の掲示については難しい場合がある。	
子育て支援 政策課	単独型子育て 支援センターでの食 育に関する事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	単独型子育て支援 センター利用者	実施日:不定期 場所:各子育て支援センター 内容:離乳食教室、ブルーベリー摘み、お芋掘り、里芋堀など各支援センターで内容を決定し実施	・単独型子育て支援センター10か所すべてで、育児相談(食事・栄養に関する相談を含む)を実施した。 ・食への関心を高める体験をする機会を設けることができた。	畑を持つなど、それぞれの支援センターの特徴を生かした講座やイベントを引き続き実施する。	
青少年育成 課	三橋児童セ ンター「離乳食講 座」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:離乳食期の 乳児とその保護者 実施回数:1回 参加者数:乳児5 人、保護者5人	実施日:2020年10月1日(木) 場所:三橋児童センター 学習室 内容:離乳食期の食事の与え方、作り方についての講話 講師:大宮区保健センター栄養士	事前に保護者から質問事項を聞き取り、講話の中に取り入れていただいた。皆さん熱心に話を聞いていて、講話終了後も個別に相談する保護者が多く、食に関する関心の高さが伺えた。	企画当初、15組の参加を予定していたが、感染症拡大防止のため8組に縮小した。その上で5組の参加ということとなり、参加人数や部屋の広さ、実施時間を検討し、安心して参加していただくための取組みを徹底し周知していきたい。	たより、チラシを設置、ポスターを掲示し、2組の参加があった。消毒、換気を徹底し、フロアマットを用いて所定の場所を作ることによって、参加者同士の距離を保った。講師もマスクとフェイスガードを着用し、対策を取ってくれた。
青少年育成 課	天沼児童セ ンター「やきいも パーティ」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:地域住民 実施回数:1回 乳幼児37人、 児童10人、 保護者37人、 高齢者1人、 ボランティア4人	実施日:2020年12月26日(土) 場所:天沼児童センター 庭 内容:地域の方々の交流の場となるよう、みんなで一緒にやきいもを作って食べる。	NPO法人ハンズオン!埼玉「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンに応募して実施した。地域住民やボランティアの方々等のご理解ご協力のもと、楽しい雰囲気の中で、安全に行うことができた。参加者からも「おいしかった」等好評だった。	今年はコロナ対策のため、人と人との距離を取るようになり、昨年度までのような交流は持てなかった。	昨年度までは予約不要としていたが、今年度についてはコロナ対策として予約制とした。事前にチラシを施設近隣へポスティングしたことで、コロナ禍の実施ではあったがご理解をいただき、予約は2～3日の内いっぱいになった。当日はコロナ対策もあり参加者同士の交流はあまり持てなかったが、職員は従来よりも見守り中心としたことで、参加者主体で行うことができた。
青少年育成 課	宮原児童セ ンター「栄養士さん による食育講 話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児とそ の保護者 実施回数:1回 参加人数: 乳幼児3人 保護者3人	実施日:2020年9月17日(木) 場所:宮原児童センター 内容:北区役所保健センター栄養士による乳幼児の食育についての講話	参加者の離乳食等に関する疑問や不安を解消することに繋がった。	コロナ禍での開催であるため、定員制などの感染防止対策が必要であった お子さんと同室のため、講話に集中できない保護者がいる。	

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
青少年育成課	【文蔵児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児親子 参加人数: ①幼児13人、保護者12人 ②幼児13人、保護者13人	実施日: ①2020年9月15日(火) ②2020年10月15日(木) 場所:文蔵児童センター 内容:乳幼児期の食について理解を深める。南区保健センターの栄養士による食育講座と食に関する相談役を行う。また個別相談も行う。	栄養士による食育講座として講話を実施。質問が多く寄せられる内容を中心に行った。月齢を分けて実施したので、講話が終わった後も、情報交換しながら過ごされ、同じような悩みを共有したり、我が子の実践例を他の保護者に伝えたりする姿が見られた。	保護者同士が自分の悩みや心配事を気軽に話せる場が必要。次年度も引き続き実施していく。	
青少年育成課	【与野本町児童センター】離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 実施回数:2回 参加人数: ①親子3組(乳幼児3人、保護者3人) ②参加人数0人	実施日: ①2020年10月21日(水) ②2021年1月22日(水)中止 場所:与野本町児童センター 内容:栄養士による離乳食・幼児食についての講話	コロナ感染拡大予防のため定員を少なくして実施。冊子やパンフレット等をおとして、講話をしていただいた。保護者からの質問も多かったが、丁寧に対応してくださり、知識を深めることができた。2回目は、緊急事態宣言のため中止となった。	多くの人に知っていただくために、広報の時期や方法について検討していく。	
青少年育成課	【向原児童センター】親子であそぼう「食育講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:0歳児とその保護者 1回開催(2回予定) 参加人数: 乳児3人保護者3人	実施日:2020年9月15日(火) 場所:向原児童センター遊戯室 内容:中央区保健センター栄養士による食育(離乳食に関する)講話 (緊急事態宣言により、1月27日(火)中止)	コロナ禍のため、要予約・定員制での実施となり、参加者は少なかったが、質問をしたり真剣な様子で参加されていた。コロナにより母同士の交流の場が少ない中、育児の悩みを共有し、相談できる機会となったようだ。	例年0歳児親子対象の事業であるが、今回申込制としたことで、1歳児母親のニーズにも対応できた。	
青少年育成課	【大戸児童センター】ハイハイサロン「離乳食講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳児と保護者 参加人数: ①5人(5組) ②中止	実施日:①2020年10月29日(木)②2021年2月4日(木)中止 場所:大戸児童センター 内容:中央区保健センター管理栄養士による講話や個別相談	利用制限中のため少ない定員であったが、4～10ヶ月の乳児親子の参加で離乳食について、初期・中期・完了期まで幅広い講話内容であった。質疑応答の時間だけでなく終了後も質問が絶えず、保護者の離乳食に対する関心の高さがうかがえた。	参加者全員が保健センターでの離乳食講座にまだ参加していなかったこともあり、児童センターでの講座の必要性も強く感じられた。	
青少年育成課	【大久保東児童センター】栄養士による講話	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 ①乳幼児7名、保護者7名 ②乳幼児7名、保護者8名	実施日:①2020年9月2日(水)②2020年11月26日(木) 場所:大久保東児童センター 内容:保健センターの栄養士を講師とし、離乳食やバランスのいい食事についての講話、利用者からの質疑応答、悩み相談など	離乳食やバランスのいい食事についての講話を聞き、食育についての理解が深められた。また個別相談を行うなど、利用者が日ごろ悩んでいることが解決された。	乳幼児とその保護者が参加する事業内で行うので、乳幼児が講話中に飽きてしまうことへの対応	
青少年育成課	【仲本児童センター】仲本ファームプチトマト栽培	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:利用者全般	実施日:2020年5月～7月 場所:仲本児童センター・仲本荘玄関前 内容:プランターで栽培したプチトマトの成長を見守り、収穫する。	・玄関前で栽培したため、多くの利用者が成長過程を見ることができた。また、成長過程を館内掲示したことにより、収穫後も利用者が成長過程を見ることができた。 ・毎年、乳幼児親子・児童が収穫しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため職員が収穫した。	・今回、成長過程を記録し、館内掲示したが、赤い実になるところで記録を終えた。植物が枯れてしまうところまで記録し、植物の生きた過程も利用者にも伝えたい。 ・コロナ禍でも対策を考慮したうえで、子どもたちが収穫できるよう工夫したい。	

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										実績 (令和2年度)						成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題														
青少年育成課	【尾間木児童センター】家族でじゃがいも作り体験 尾間木公民館共催事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:幼児と小学生とその保護者 実施回数:1回	日程:①2021年3月27日(土) 場所:尾間木公園近くの公園 内容:種いもの植え付け	種芋から植えることが初めての参加者が多く、親子で協力をして植えていた。自分のエリアの目印にオリジナルの看板を作って、次回への楽しみに繋げていた。	コロナ禍での開催であったため、参加者同士の交流は積極的にもつことはなかったが、その分家族での会話がはずんでいた。		
協働 ○	(新規)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○						
保育課	保育園での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:公立保育園に通う児童、その保護者 実施回数:76事例	場所:各公立保育園 内容: ・公立保育園が食育年間計画を作成し、保育士等が実施した食育が61事例。保育課栄養士が公立保育園に出向いて実施した園児向けの食育が15事例。 ・給食で提供している献立のレシピを作成し、配布。(主菜のレシピ33種類)	各園で作成した食育年間計画を基に、子どもの月齢や発達に応じた食育を実践することができた。 また、保護者向けに作成した給食の人気レシピを配布を行い、家庭の食に対する興味関心を高めることができた。	園児向けの食育に比べて、保護者向けの食育の機会が少ないため、検討が必要。		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					食育イベント「ドレッシング作り体験」の様子	
保育課	食だよりの発行	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:公立保育園の保護者、食育ナビの閲覧者 実施回数:年6回発行	場所:公立保育園へ通う児童の保護者へ配布、食育ナビ上へ掲載 内容:季節ごとの食に関する情報発信、栄養・食育・衛生・食物アレルギーについての情報発信等	保育課栄養士より、公立保育園の保護者へ食に関する様々な情報を発信することができた。 また、食育ナビへ掲載することでより広く発信することが期待できる。	保育課栄養士が主導となり発信する内容を決めているが、保育園や保護者の知りたい内容を発信できるとよい。	令和2年度に発行した食だよりの内容 ・番号:公立保育園の給食、食育、旬の食材と行事食の紹介 ・臨時号①:食中毒予防、手洗いの仕方について ・臨時号②:地産地消について ・夏号:家庭でできる脱水症予防、夏におすすめのレシピの紹介 ・秋号:朝ごはんの働き、シェフ給食の紹介 ・冬号:免疫力を高める栄養素、さいたま市の食育目標	
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
保育課	公立保育園併設型子育て支援センター(4園)および子育て談話室での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施回数:6事例	場所:公立保育園併設型支援センター(日進保育園、大砂土保育園、与野本町保育園、西町保育園)、公立保育園子育て談話室(大谷場保育園) 内容:乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	公立保育園の給食を媒体に、食に関する情報を発信することができた。1回あたりの参加数を少なくし、1人1人の栄養相談の時間をしっかりと設けることができた。 また、参加できなかった方にも当日の資料を配布したり、参加者からの質問内容を共有することで情報を発信することができた。	1回に参加できる人数に限りがあり、もれなく参加してもらうために実施回数の検討が必要。		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					子育て支援センターでの食育の様子	
保育課	食育ナビにて保育施設における食育活動の発信	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内の保育施設、食育ナビの閲覧者 実施回数:13事例	場所:食育ナビ上へ掲載 内容:市内の保育施設で行っている食育の取組、食物アレルギー研修の紹介	各園に直接出向いて食育を行うことが難しいことを受け、園での取り組みを食育ナビで積極的に発信した。これにより、保護者を始めとして、園で行っている食育活動の発信ができた。	今後も継続して発信していく。		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					「夏野菜と子どもたちと三橋保育園ファーム」	
保育課	食育ナビにて保育施設における給食献立の発信	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:食育ナビの閲覧者 実施回数:4事例	場所:食育ナビ上へ掲載 内容:市内の保育施設で提供している給食献立レシピの紹介	食育ナビで発信することにより、保護者を始めとして、保育施設の人気メニューなどを発信することができた。	今後も継続して発信していく。		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					米粉のあさり入りチヂミ	

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ			実績 (令和2年度)			成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等			実施日、場所、内容	成果	課題			
保育課 協働—	食物アレルギー研修会及び講演会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	○ ○ ○ ○ ○ ○	○エビベン研修会 実施回数:9回 対象:市内保育施設の職員 ○新任職員食物アレルギー研修会 実施日:①11月19日(木)②12月3日(木) 場所:①浦和コミュニティセンター②プラザノース 内容:「食べて治す!子どもの食物アレルギー」研修(講師:さいたま市民医療センター 小児科 診療部長 西本 創氏)	エビベン研修会は、食物アレルギーについての講話とエビベン使用時の流れを確認することで、基本的な知識の習得を図ることができた。 また、研修会は規模を縮小し、対象を新任等聴講歴の無い職員とすることで、正しい知識を施設で共有することにつながった。	感染症拡大防止のため、実技講習を行うことが難しく、方法について検討が必要。 また、令和2年度は規模を縮小し、参加人数を制限したため開催の方法について検討が必要。		新任職員食物アレルギー研修会の様子 (座席の間隔を空けて実施)
環境創造政策課 協働—	エコライフDAY (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	夏 7,956人 冬 7,591人	夏と冬の年2回、ある1日を省エネ・省資源など環境に配慮して過ごし、その成果を二酸化炭素の排出削減量で把握する取組で、環境配慮のきっかけ作りを目的としている。取組項目には、「食べ残しをしない」「野菜は旬なものを選ぶ」といった、食育推進に関連する内容が含まれており、市立小中学校の児童・生徒・市職員やその家族などに取り組んでもらった。 取組期間 夏6月～9月 冬12月～3月	環境に配慮していただく中で、食育の推進についても取り組んでもらうことができた。	参加者を増やすため、一人ひとりの行動が地球温暖化防止につながるという本取組の趣旨を周知し、参加を促していく。		
資源循環政策課 協働○	九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会 3R普及促進事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:九都県市 域内住民	実施日:令和2年4月～ 場所:九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市)域内 内容:食品ロス削減を含む省資源化を行う企業を支援する、「チャレンジ省資源宣言」を実施。ホームページで企業の取組等を紹介している。また、令和2年10月から11月まで宣言企業の商品が当たるキャンペーンを実施。 そのほか、令和2年10月の食品ロス削減月間に合わせ、テレビチャンネルや九都県市内のデジタルサイネージで啓発動画(令和元年度作成)を放映。	例年普及啓発活動を行っていたイベントが中止となる中、ホームページやテレビチャンネル等を活用し、広く周知することができた。	イベントが開催しづらい状況下でもいっそう多くの市民に周知できるよう、PRの方法をさらに工夫していく必要がある。		
資源循環政策課 協働○	Saitama Sunday Soup (あまった食材、スープにしちゃおう!日曜日は食べつくスープ!) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	○ ○ ○ ○ ○ ○	実施日:令和2年4月～ 内容:食品ロス削減を呼びかけるため、パンフレット・動画を作成。食品ロス削減につながる「買い方」と「冷蔵庫整理術」を紹介したほか、あまった食材は日曜日にスープにして食べつくそう、ということと、レシピとともに提案している。インスタグラムなどにもレシピを掲載中。 また、令和2年10月から11月まで、インスタグラムに食べつくスープの写真を投稿するとプレゼントが当たるキャンペーンを実施。期間中489件の投稿があった。	パンフレットはイベント等で配布するほか各区の情報公開コーナーにも配置しており、おおむね好評を得ている。 またインスタグラム等を活用することで双方向での啓発活動を行うことができた。アンケートでは「食品ロス削減を考える機会になった」といった声が寄せられた。	インスタグラムでは市民等から投稿のあったレシピも掲載している。さらなる投稿増加のためにも、いっそうのPRが必要である。		
資源循環政策課 協働—	チームEat All (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	○ ○ ○ ○ ○ ○	実施日:令和2年4月～ 内容:食減ロス削減に取り組む企業と市が協働で食品ロス削減を推進するチームを結成。市では企業の取組の紹介等を実施。 令和2年10月から11月まで、企業の取組を紹介するともにアンケートに答えて参加企業の商品等が抽選で当たるキャンペーンを実施。1,811件の応募があった。	令和3年2月末現在で24の事業者が参加。市ホームページを通じ、広く市民に周知している。 キャンペーンのアンケートでは事業者の取組をこのキャンペーンを通じて初めて知ったとの声も多く見られた。	事業者の取組についてより多くの市民に周知できるよう、PRを強化していく必要がある。		もっと!もったいないを、モットーに。
農業政策課 協働○	児童体験農業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内小学校の小学5年生(指扇小学校)	場所:指扇小学校 内容:小学生を対象に田植え・稲刈り体験を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。体験の代わりに、田植え・稲刈りの写真を授業で取り上げ、収穫したお米を児童たちへ提供した。	生産過程を知ることで、食の大切さを学ぶことが出来た。農業後継者対策推進協議会事業として実施している。	参加学校数が伸び悩んでいる。		

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

Plan											Do				Check		取組の様子など								
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標					5つの「食べる」					実績 (令和2年度)													
		三食 しっかり	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳		壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題		
農業政策課	エコ農業直接支援事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	—	実施日：— 場所：西区 内容：生産者の減農薬・減肥料栽培を支援し、カバーネットを用いた栽培や農薬・化学肥料の使用を慣行の5割以下に減らした栽培など、環境保全型農業を中心とした米づくりを推進した。	減農薬・減肥料で環境負荷の小さい米作りを推進できた。	レンゲなど種苗、資材が高騰し、実施者から事業継続を危ぶむ声がある。		
協働												○	○	○	○	○	○	○	○	○					
農業政策課	さいたま市農情情報ガイドブック・マップ作成	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	—	実施日：— 場所：— 内容：農業情報を掲載した冊子の作成(23,000部)、配布を行った。	市内農業の市民へのPRIに努めるとともに、地産地消の推進を図った。	配布場所を工夫する等、冊子のより効果的な利用方法を検討する必要がある。		
協働	(継続)											○	○	○	○	○	○	○	○	○					
農業政策課	農産物ブランド化事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	—	実施日：— 場所：— 内容：さいたま市内には、くわい・紅赤・さいも・小松菜・チコリー・木の芽など特色ある農産物が多く生産されており、花や植木の生産も盛んである。これらの農産物自身をPRするとともに、加工品の開発・商品化を行い、市内農産物の生産振興とその販路拡大を図った。	紅赤の商品化を行ってくれる店舗の新規開拓や農産物の庁内外でのPR活動を行い、特産品の認知度向上に貢献できた。	加工品の原料の供給が不安定である。		
協働	(継続)											○	○	○	○	○	○	○	○	○					
農業政策課	ニーズ対応型農業支援事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	—	実施日：— 場所：— 内容：消費者ニーズに対応した「欲しいものをつくる」ニーズ対応型農業を支援するため、地元業者と連携をとり、ホップの試験栽培を行った。	少量ながら、地元業者にさいたま市産ホップを納入した。	生産量が少なく供給が難しい。		
協働	(継続)											○	○	○	○	○	○	○	○	○					
保健センター 共通事業	食生活改善推進員の育成	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象：食生活改善推進員	場所：各区 内容：各区の状況に応じた、食生活改善推進員の育成。	地区活動等が円滑に進むよう、各区の状況に合わせた支援(研修会の開催や活動へのアドバイス等)を行った。支援を通して、地域における食を通じた健康づくりを進めている。新型コロナウイルス感染予防のため調理実習は行わず、講義のみ。	食事バランスガイドの理解を深め、実践できる会員を増やしていくことをテーマに、会員一人一人の質の向上と、会員数の増加を引き続き目指す。新しい生活様式を踏まえて、講義等実施する必要あり。		
協働	(継続)	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○					
保健センター 共通事業	特定保健指導	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象：積極的支援対象者 回数等は区によって異なる。	実施日：区によって異なる 場所：各区保健センター 内容：生活習慣改善の自主的な取り組みのため、行動目標を立て、3か月以上の支援を行う。乱れた食生活を改善し、内臓脂肪の減少のために1日にどの位のエネルギーが必要なのかを知り、朝食の大切さ、3食バランスよく取ることを食事バランスガイドなどを活用して支援していく。	実績評価時の栄養・食生活の状況は、7割以上が改善していた。特定保健指導を受けた方は、食生活の見直しについて認識できたと考えられる。	受講者数を増やすため、健診後、対象者が特定保健指導に繋がるような働きかけが必要である。また、より分かりやすく、取り組みやすい資料を用いた説明や教育を取り入れることでより改善につなげていく。		
協働	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和2年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
保健センター 共通事業	地区依頼教育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	区によって異なる。	区によって異なる。 区に状況に合わせて実施した。	各区内において実績評価、改善をしている。	第3次さいたま市食育推進計画の推進を図る。		
協働—	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
保健センター 共通事業	離乳食教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:4～5か月児の保護者 各区定員20～38人	実施:区に状況に合わせて実施 場所:各区役所保健センター 内容:離乳食の進め方の講義と形状見本の提示等	安心して離乳食をすすめられるよう、形状見本の提示等を交えて教室を実施。 新型コロナウイルス感染症の影響で教室が実施できなかった期間があったため、教室の動画を作成し、公開した。	新しい生活様式に合わせて内容・定員を変更。		
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	—						
保健センター 共通事業	出産前教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:主に初妊婦とその夫 回数等は区によって異なる。	実施日については区によって異なる。 場所:各区保健センター 妊娠中の食生活の留意点についての講義を実施。	各区内の現状に応じて実施をしている。	区、月によって参加状況に差がある。新型コロナウイルス感染予防を行い、各区の現状にあった内容になるように、見直しを行っていく。		
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—						
西区保健センター	親子でございそうごはん～お米編～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:区内在住の小学生とその保護者 実施回数:1回 参加者数:12人	実施日:10月18日(日) 場所:西区役所保健センター 内容:西区のお米農家さんの講話、お米クイズ	内容を変更しての実施となったが、参加者の満足度は、「満足」60%、「やや満足」40%と概ね好評であった。また、お米農家さんから米作りの工程や都市型農業の課題等、普段伺うことのできない講話を直接聞くことができたことから、生産者に対する感謝の気持ちの醸成や市内の農産物等の利用について関心が高まり、参加者の食生活を見直すきっかけになったと推察される。	テーマや開催時期など検討する必要がある。		
協働—	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
西区保健センター	健康！ほっとステーション	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:区役所来庁者	実施日:6月、9月、10月 場所:西区役所保健センター 内容: 6月「確かな目を持って食べる」をテーマに掲示とリーフレットの配布 9月「食生活改善普及運動」に関する掲示とリーフレットの配布 10月「朝ごはんを食べよう」をテーマに掲示とリーフレットの配布	保健センター利用者の他、区役所来庁者も気軽に足を止めて掲示を見ている姿が多数見受けられた。また、市民が持ち帰れるよう資料を設置しており、閲覧利用だけではなく、啓発資料が市民の手に渡り活用されていると考える。	時宜にかなったテーマや区民に関心を持っていたいただけるようなテーマを設定する必要がある。		
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
西区保健センター	ちょっと血糖値が気になる方の健康塾～かしこく減らす3つのヒント～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:40歳～74歳の区民 実施回数:1回 参加者数:7人	実施日:10月29日(木) 場所:西区役所保健センター 内容:健康に関する講話、体組成測定	内容を変更しての実施となったが、アンケート結果より、「生活習慣を見直すきっかけになった」と回答した人の割合は100%であったことから、本教室は参加者の意識づけに繋がったと考える。	参加者の教室参加後の行動変容状況について把握する必要がある。		
協働—	(新規)	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)			成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
北区役所保 健センター	北区健康づく り階段クイズ	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:北区役所 来庁者	実施日::①6月②9月③12月④3月 場所:北区役所東側階段 内容:①朝食②減塩③野菜摂取④バランスの良い食事 各テーマに関するクイズの問題・解答の掲示、関連する リーフレット、保健センター健康づくり事業一覧表の配置	階段を利用している市民に 対し、食の情報を発信するこ とで健康に対する意識を高 めるきっかけづくりを行うこ とが出来た。	どのように意識変化をもた らしているか等の効果測定が 難しい点が課題として挙げら れる。	
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
北区役所保 健センター	家族ニコリ とりわけ離乳 食(歯周病予 防教室)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:区内在住 の乳児とその保 護者	12人 実施日:令和2年10月22日(木) 場所:北区役所保健センター 内容:講義:口腔ケア(口腔チェック(保護者のみ)・とり わけ離乳食(試食見本提示)	定員数を超える申し込みが あり1歳未満児の保護者(若 い世代)に普及啓発ができ た。 内容も今後役立つとの回 答が多数あり、参加者の満 足度の高さがうかがえた。	可能な範囲で定員数の増加や、 実習等を実施していく必要があ る。	
協働—	(新規)	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
北区役所保 健センター	けんこうギャ ラリー	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:北区役所 来庁者 4日間開催 合計:112名	実施日:令和2年9月1日(火)、9月2日(水)、9月3日 (木)、9月4日(金) 場所:北区役所1階 多目的室 内容:健康に関する展示(糖尿病予防の食事、朝ごはん の必要性等)	コロナ禍の中、場所をステラ タウンから北区役所に変更 し、区役所利用者に対して健 康に関する普及啓発を行うこ とができた。	新型コロナウイルス感染症の発 生状況を注視し、新しい生活様 式を踏まえた幅広い世代の区民 に対して食育推進を目的とした 普及啓発を実施する必要がある。	
協働—	(新規)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
大宮区保 健セン ター	食育推進を 目的とした普 及啓発(掲示 等)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:大宮区役 所来庁者 3回開催	実施日:6月食育月間内(令和2年6月11日～30日)、 8月食品衛生月間(令和2年8月3日～31日)、 10月朝ごはんを食べよう強化月間 (令和2年10月1日～30日) 場所:保健センター掲示コーナー 内容:ポスターや掲示物での啓発、パンフレットの配布	保健センターの入口外側に 設置できるリーフレットや掲 示物にも限りがあるため、よ り区民に関心を持ってもらえ るようなテーマの掲示物や配 布するリーフレットの選択が 必要である。		
協働—	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
大宮区保 健セン ター	親子で♪もぐ シャカレッ ス	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:区内在住 の4歳から6歳児 (未就学児)の保 護者 1回開催予定だ ったが、開催せず 0人	実施日:令和2年7月29日(水) 場所:保健センター 内容: 管理栄養士による講話「栄養バランスよく食べるために は」、「野菜と仲良くなる工夫」 歯科衛生士による講話「むし歯を予防しましょう」	保護者を対象とし、内容を講 義のみとして参加者を募集を したが、参加希望者が集ま らず、開催できなかった。	内容が講義のみでは参加者 を集めるのが困難であった。 調理実習以外の食体験を検 討する必要がある。	
協働○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
大宮区保 健セン ター	親子でわくわ く♪食育スタ ンプラリー	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:区内在住 の2歳から6歳児 (未就学児)とそ の保護者 1回開催 3組	実施日:令和2年12月2日(水) 場所:保健センター 内容:紙芝居を用いた管理栄養士の講話「確かな目をも って食べるために」、食に関するクイズ・ゲーム、野菜 スタンプ	教室後アンケートでは「教室 の内容を家庭でも取り組んで みようと思うか」の問いに、参 加者全員が「思う」と回答し た。 「野菜スタンプを家庭でも やってみよう!」「家族みんな で食育に取り組みよう!」「楽し く学べた」と好評をいただい た。	区内児童センター、子育て支 援センター、幼稚園、図書館 にちらしの配布を依頼した が、参加者が増えなかった。 より多くの区民に事業の周知 ができるPR方法の検討が必要 である。 また、調理実習以外の方法 で食育を推進していく工夫を 検討する必要がある。	
協働—	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)					成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題													
見沼区保健センター	甘党さんのヘルシーレッスン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住の30～64歳以下の方・特定保健指導「積極的支援」の方(医師から運動制限指示がない方) 参加者数:4人	2日間1コース制から1日のみに変更されたが、緊急事態宣言発令で中止。申し込み者のうち希望者には3日間の食事記録を提出してもらい、甘党パーソナル栄養チェックとして栄養計算結果とワンポイントアドバイスを返信した。	参加者が食事記録に取り組み、栄養計算結果とワンポイントアドバイスを受けることで、食生活を見直すきっかけになったと考えられる。	感染症拡大防止対策を徹底して、効果的な教室を実施していく必要がある。	
見沼区保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:見沼区役所来所者	実施日:通年 場所:見沼区役所ロビー・保健センター前 内容:6月の食育月間、10月の朝ごはんを食べよう強化月間を始め、月ごとにテーマを決め、食に関する情報を掲示し、パンフレットを配布。	6月は「家庭でできる親子クッキングのレシピ」、9月・10月は「食育しおり」を作成し、パンフレット等とともにパッケージして配布した。パンフレットのみよりも区民が手にとることが多く、広く市民に啓発ができた。	今後も対象者の反応をとらえながら、区民に広く啓発できるよう工夫をしていく。	
中央区保健センター	食べ物・飲み物ふしぎ発見教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:学齢期の子どもとその父親 参加者数:8組19人	実施日:2020年8月30日(日) 場所:中央区役所保健センター 内容:朝ごはんについての講義、清涼飲料水の砂糖と口腔の健康についての講義および調理実験	参加者のアンケート結果より、教室が子供の食に対する関心を高める内容であったかの問いに関しては、「思う」「どちらかといえば思う」が合わせて100%となった。また、親子で食生活を振り返る、きっかけづくりになったかという問いに対しても、参加者全員が食生活を振り返るきっかけづくりになったと回答した。	アンケート自由記載欄に、親子での実習を行いたい意見が見られたため、新しい生活様式に配慮しての親子実習を取り入れていきたい。	
桜区保健センター	桜区民のための健康講座 糖尿病予防講座 ⇒名称変更:さくらカレッジ～糖尿病予防教室～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住の40～74歳の方 参加者:4人	日程:8月31日 場所:桜区役所保健センター 内容:血管を若く保つための食事(講義) 血管年齢測定 測定結果、糖尿病総論	アンケート結果より、実施内容は好評であった。	参加者が少なく、集客方法が課題である。	
南区保健センター	親子で楽しくクッキング～パパッと簡単朝ごはん編～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:(親子編)南区在住の小学生とその保護者1人、(大人編)南区在住の20～40歳代の方 実施回数:各1回 参加者数:(親子編)4組8人、(大人編)2人	実施日:(親子編)令和2年9月12日(木) (大人編)令和2年9月18日(日) 場所:南区役所保健センター 内容:パッキングについてのお話、防災・被災時の対応(歯とお口の健康)についてのお話、ミニ講話(朝食摂食、がんについて)、体組成測定	今年度より災害対策と関連させ、パッキングをテーマに教室を実施。朝食摂食等に関する講話も行った。アンケート結果では、親全員から「自身の生活習慣を見直すきっかけとなった」と回答を得られた。	次年度も同内容で実施予定。周知方法を従来のものに加え、給食だよりへの掲載を依頼する。	
緑区保健センター	ぷよっとお腹を引き締める!食事と運動教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:緑区在住の18～64歳 10人	実施日:11月30日(月) 場所:緑区保健センター 内容:保健師講義「運動と代謝について」 運動講義・実技「お腹周りの筋肉を使うエクササイズ」 栄養士講義「バランスの良い食事」、調理見本提示 体組成測定	アンケート結果より、教室の満足度・理解度が高く、今後改善できそうなこと・家で続けたいことも意見が多く上がっていた。	・感染予防対策の為、試食中止し見本提示とした。 ・新しい生活様式に基づき新型コロナウイルス感染予防を行い今年度と同様教室を実施していく。	

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)												
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題									
緑区保健センター	家族みんな でいただきま ウス教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:緑区在住の0歳児の保護者 4人	実施日:9月9日(水) 場所:緑区保健センター 内容:歯科医師による保護者の口腔チェック 歯科衛生士講義「口腔ケア」、 栄養士講義「とりわけ離乳食」、調理見本提示	アンケート結果より、保護者の口腔ケアについて理解度が高かった。また、紹介した献立やとりわけ離乳食について実践してみようと思ったと回答した者は半数以上であった。	・感染予防対策の為、児の参加不可、試食中止見本提示とした。 ・定員に満たなかったため、感染予防対策を徹底し児の参加を選択制にするなど検討する。	
協働	(継続)	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—						
岩槻区保健センター	達人に学ぶ おやこシリーズ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:①小学1～4年生とその保護者 ②小学生とその保護者 ①中止 ②7人	日程:①6月7日(日)中止 ②12月6日(日) 場所:①岩槻駅東ロコミュニティセンター②岩槻区役所保健センター 内容:①かけっこの人 ②野菜ソムリエに学ぶ!親子でつくるカフェランチ 地元の野菜ソムリエより講話、調理デモンストレーション	アンケート結果より、参加者の満足度は高く、「今日の内容を日常生活で実践できそうか」を尋ねた問いについては、「実践しようと思う」と答えた割合が100%であった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を制限し、調理実習をデモンストレーションに変更した。実習を伴わなくても効果的な教育方法について検討していく必要がある。	
協働	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	○	—					
岩槻区保健センター	健康月間における普及啓発掲示	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:岩槻区役所来庁者	実施日:①6月 ②9月 ③10月 場所:岩槻区役所3階保健センター掲示ブース 内容:①第3次食育推進計画について(確かな目をもって食べる) ②野菜、牛乳・乳製品の摂取について ③朝食摂取について 各内容について、来庁者向けにポスターを掲示、リーフレットの配布を実施	利用する区民の多い3階に情報を掲示することで、保健センター来庁者以外へも食育や健康づくりへの知識の普及啓発ができた。	引き続きテーマや内容を変えながら、来場者の目を引く展示内容を検討し、啓発を行っていく。	
協働	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○					
岩槻区保健センター	健康づくり応援教室はじめてのピラティス	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住の20～64歳の方 2回/年 ①中止、②7人	実施日:①6月17日(水)中止 ②10月30日(金) 場所:岩槻区役所保健センター 内容:ピラティスの実技、体組成測定、健康についての講話(脂質のとり方)	30、40代の参加が多く、若い世代に向けた啓発を行うことができた。アンケート結果からも、全ての参加者が健康について考えるきっかけになったと回答していた。	より生活習慣病予防に重点をおいた運動の内容に変更し、事業を継続する。	
協働	(新規)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—					
健康教育課	地元シェフによる学校給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:児童生徒、教職員 49校	実施日:給食実施日 場所:市立小・中・特別支援学校 内容:地元のシェフと連携を図り、学校給食を実施	他の国の料理や地場産物の理解が深まり、児童生徒の食への関心が高まった。	・実施校は希望によるものなので、より多くの児童生徒が触れる機会が設けられるように検討していく。	
協働	(継続)	—	—	○	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	○	—					
健康教育課	地場産物の活用推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	①彩の国ふるさと学校給食月間の実施 対象:児童生徒 ②地元生産者との情報交換会	①彩の国ふるさと学校給食月間の実施 実施日:11月 場所:市立小・中・中等・特別支援学校 内容:埼玉県産、さいたま市産の食材の使用 ②地元生産者との情報交換会(中止)	①令和2年度の地場産物活用率は、28.8%であった。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	本取組が、地場産物活用につながってはいるが、さらなる活用拡大のためには、今後も取組を継続していく必要がある。	
協働	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	○	—					

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」					実績 (令和2年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ							対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容						
生涯学習振興課	「すくすくのびのび子どもの生活習慣向上」キャンペーン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校全児童生徒(啓発リーフレット配布)	・「すくすくのびのび子どもの生活習慣向上」キャンペーンの実施 ・啓発ポスター、リーフレットを作成・配布 ・生活習慣向上に関する動画コンテンツの作成・配信 ・養護教諭研修会・市PTA協議会理事会で説明・啓発 ・市報さいたま(8月号)で生活習慣向上の呼びかけ ・中央図書館で生活習慣向上に関する図書展示、ポスター掲示、リーフレット設置 ・生活習慣向上に関連する講座等の講師リストの更新	様々な手段を用い、児童生徒の生活習慣向上を保護者や学校、一般市民に広く周知・啓発することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、自粛生活を余儀なくされた子どもたちの生活リズムの乱れなどが懸念されているため、引き続きキャンペーンを実施し、学校・家庭・地域へ啓発していく。	キャンペーンロゴ 
生涯学習総合センター	各公民館事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	P20～27 「令和2年度 公民館事業報告書」とおり				
防災課	さいたま市防災ガイドブックの配布	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:市内転入者	実施日:2020年4月～2021年3月 場所:各区区民課、支所窓口 内容:市内転入者に対し、『さいたま市防災ガイドブック』を配布。	家庭での食料や飲料水の備蓄について、市民への周知を行うことが出来た。	必要に応じ、防災ガイドブックの内容の見直しを行う。	
高齢福祉課	在宅高齢者等宅配食事サービス事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:食事の用意が困難な単身高齢者及び高齢者のみ世帯等 延べ71,576食 延べ4,962人	実施日:週5日(祝日及び12月29日～1月3日を除く) 場所:利用者の各家庭 内容:単身高齢者及び高齢者のみ世帯等を対象に、ボランティア等地域資源を活用して、夕食を宅配する。	令和2年9月～11月に実施した利用者アンケートでは、食事を届けるボランティアの声掛けについて複数回答で尋ねたところ、回答者の約55%が「安心感がある」、約48%が「楽しみにしている」と回答しており、「もう少し会話があるといい」は約10%にとどまっている。食事の配達をきっかけとして、日々の生活の中での楽しみや、地域でのつながりを感じていただいているものと考えている。	左記のアンケートでは、食事に「満足」の方が約42%であり、「満足」の割合が高いとは言えない。民間事業者による配食サービスが充実してきている中で、事業の位置づけを検討する必要がある。食事を届けるボランティアについて、65歳以上の方が中心となっており、高齢化が進んでいる。	
高齢福祉課	ふれあい会食サービス	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:70歳以上のひとり暮らしの市民 実施回数:21回 参加者数等:延574人	実施日:実施団体により異なる。 場所:公民館等 内容:70歳以上のひとり暮らしの方との交流を深めるため、ボランティアの協力により公民館等で会食を行う。	実施できた場合には、高齢者の孤独感の解消と健康維持に資することができた。	新型コロナウイルスの影響でほとんど実施できなかった。実施の場合も、会食ではなく食事の持ち帰り対応などとなった。	【補足】市は、市社会福祉協議会に補助を行い、地区社会福祉協議会が各地区の特色を活かして事業を実施している。

令和2年度公民館事業報告書

件数total									総回数	参加延人数		食育の目標					食育の各年齢期					継続				
98									163	2742	104	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児 期	学齢 期	青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期		
-	生涯学習総合センター	1	13	5001	さいたま市民大学 食と健康コース 〔託児付き〕	「学んで実践！賢く食べて健康に～人生100年時代の食と健康～」をテーマに講座を開設	大学教授 企業	1月	2	どなたでも	68	2			○								○	○	○	
西	指扇	2	22	1100	e公民館 我が家の味 味噌作り	ふかした豆から作る手作り味噌の作り方を学ぶ教室	管理栄養士	3月	1			1		○	○	○	○						○	○	○	○
西	植水	4	70	1900	おうちで楽しむクリスマス	クリスマスのフラワーアレンジメント作りとフランスのクリスマス料理作りを体験しました。	フランス料理ディプロメ	12月	2	成人の方	16	1		○	○	○	○						○	○	○	
西	内野	5	85	2520	夏休み子どもHappy公民館 ～親子でブルーベリー摘み&パティシエ体験	地元農園の協力によりブルーベリーの摘み取りとパティシエ体験した。	地元農園パティシエ	8月	1	小学生とその保護者	10	1		○		○	○			○		○	○		○	
北	大砂土	6	20	1100	そば打ち教室	そば職人に学び、自分でそば打ちをして、食育を促しました。	そば打ち指導者	12月	1	どなたでも	12	1		○	○		○						○	○	○	
北	日進	7	6	1001	親の学習事業 なるほど！「How To子育て」(託児付き)	子どもの身体と心の健康づくりを支援するために、健康や幼児食等の講話や実技を行いました。連携:市長部局	管理栄養士、学校コーディネーター等	10月	3	1歳～3歳未満の幼児と親	17	1	○						○							
北	日進	7	13	1100	野菜ソムリエから学ぶ大切な人に野菜の魔法を！(託児付き)	若者対象事業で、健康保持増進のために野菜の栄養や料理方法・魅力など多面的に学びました。	野菜ソムリエ	10月	1	20歳から65歳未満	9	1	○				○						○		○	
北	植竹	9	7	1010	BONSAI学園	介護予防普及啓発事業で、歌・生活習慣病予防・腸内環境と野菜の摂り方を学びます。	合唱指導者、演奏者、落語家 他	8月～1月	6	65歳以上	211	2				○								○	○	
北	植竹	9	8	1000	わくわく子育てプログラム	子育て中の親同士の交流等を目的として親子体操、親子ヨガ、等のプログラムを行います。	親子体操指導者、ヨガ指導者 他	8月～11月	4	就園前の2歳以上の子と親	18	1		○					○	○					○	
北	植竹	9	19	1100	趣味講座 クリスマスハーブ	ハーブティの淹れかたを学ぶと同時に、食育としてハーブの知識や効果などを学びます。	ハーブ指導者	12月	1	成人	11	1				○							○		○	
大宮	桜木	10	9	1900	秋の薬膳料理講座	市民の健康増進を目的とし、食材の効能を知る機会を提供した。	国際中医薬膳師	9月	1	18歳以上	11	1				○					○	○	○	○	○	
大宮	桜木	10	19	1000	親の学習事業／さくらんぼ学級／親子で手打ちうどん作りにチャレンジ！！	子育て支援を目的とした、親子でうどんを作る機会を提供した。	国際中医薬膳師 親の学習ファシリテーター	11月	1	小学生とその保護者	19	1		○		○	○			○		○				
大宮	大宮南	11	14	1100	初心者のための蕎麦打ち体験教室	そば打ち体験をとおして参加者同士の交流を図る教室を開催しました。	地元そば屋の店主	11月	1	成人	8	1		○								○	○	○	○	○

令和2年度公民館事業報告書

件数total									総回数	参加延人数	食育総回数	食育の目標					食育の各年齢期					継続								
98									163	2742	104	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→													
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学 齢 期	青 年 期	成 人 期	壮 年 期	高 齢 期						
大宮	大宮南	11	-	19	1100	味噌作り体験教室(午前の部)	手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮した、味噌作りの体験実習を行いました。	いっぽの会会員	3月	1	成人	10	1		○							○	○	○	○	○				
大宮	大宮南	11	-	20	1100	味噌作り体験教室(午後の部)	手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮した、味噌作りの体験実習を行いました。	いっぽの会会員	3月	1	成人	9	1		○								○	○	○	○	○			
大宮	大宮南	11	-	22	1000	e公民館「おうちDEカンタン本格プリン」	自宅でプリンをメニューにしたお菓子作りの様子を動画で配信しました。	いっぽの会会員	7月	1	どなたでも		1		○								○	○	○	○	○			
大宮	大宮南	11	-	23	1000	親の学習事業／家族DEクリスマススイーツ	親同士の交流・学び合いを目的に、スイーツづくり教室と親の学習プログラム合せた教室を開催しました。	料理講師、ファシリテーター	12月	1	小学生とその保護者	16	1		○								○	○	○	○	○			
大宮	大宮中部	12	-	19	1100	季節の料理教室 発酵食品でアンチエイジング♪	発酵食品について知識を深め、発酵食品を使用した季節の料理を作りました。	野菜ソムリエプロ料理教室助手	12月	1	18歳以上	10	1				○							○	○	○	○	○		
大宮	大宮北	13	-	9	2520	夏休み子ども公民館／パパと一緒に太巻きづくり(親の学習事業)	親子できれいな切口の太巻き寿司の作り方を学び、親子の交流を図りました。	料理研究家助手 親の学習ファシリテーター	8月	1	小学生とその保護者	8	1		○	○	○	○						○	○	○	○	○		
大宮	三橋	14	-	5	2520	そば打ち教室	日本の伝統と食の楽しさを知ることとを目的として、そば作りを学んだ。	蕎麦打ち講師	12月	1	20歳以上	8	1		○									○	○	○	○	○		
大宮	三橋	14	-	7	2520	夏休み子ども公民館／親子茶道教室	青少年の健全育成を目的とする、親子で茶道について、学び体験した。	茶道講師助手	8月	1	小学生とその保護者	9	1		○										○	○	○	○	○	
大宮	三橋	14	-	19	2600	若者向け事業／生クリームでオリジナルクリスマスケーキをつくらう	クリスマスケーキを作り、参加者同士の交流を深めた。	管理栄養士	12月	1	中学生以上 39歳未満の方	7	1		○										○	○	○	○	○	
大宮	三橋	14	-	23	2000	親子味噌作り教室	青少年の健全育成を目的に、日本伝統食品である味噌作りを親子で体験した。	(株)伊勢惣	1月	1	小・中学生とその保護者	18	1													○	○	○	○	○
大宮	大成	15	-	17	2000	若者事業／クリスマス料理づくり	若者を公民館へのつどいを促すためのきっかけづくりとして、クリスマス料理を作った。	地域料理店シェフ助手	12月	1	中学生～39歳	8	1		○											○	○	○	○	
大宮	大宮東	16	-	6	1000	親の学習事業／親子パンづくり教室	子育て支援を目的とした、親子でパンづくりを学び、親の学習プログラムを実施する講座を実施しました。	パン職人助手 親の学習ファシリテーター	11月	1	小学生とその保護者	4	1	○												○	○	○	○	
大宮	大宮東	16	-	11	2520	夏休みこども公民館／料理教室	青少年の健全育成を目的に、料理を学びました。	料理研究家	8月	1	小学3～6年生	12	1													○				

令和2年度公民館事業報告書

件数total									総回数	参加延人数		食育の目標					食育の各年齢期					継続				
98									163	2742	104	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学 齢 期	青 年 期		成 人 期	壮 年 期	高 齢 期	
大宮	大宮東	16	-	21	1100	【e公民館】 おからと米粉を使ったチョコマフィン作り	おからと米粉を使った体に優しいチョコマフィンを作りました。	料理研究家	5月	1	どなたでも	1								○	○	○	○	○		
見沼	片柳	18	-	6	1000	片柳子ども公民館「パパとクッキング&おしゃべり教室～親の学習事業～」	パパと子で料理を学び、試食しながら家族同士でおしゃべりし交流を図ります。	料理研究家・管理栄養士 親の学習ファシリテーター	8月	1	小学生とその保護者	12	1			○					○	○	○	○	○	○
見沼	片柳	18	-	7	2520	片柳子ども公民館「クッキーづくり教室」	オリジナルのクッキーづくりを体験します。	パン作り講師	8月	1	小学生	11	1			○					○					○
見沼	片柳	18	-	8	2520	片柳子ども公民館「パンづくり教室」	オリジナルのパンづくりを体験します。	パン作り講師	8月	1	小学生	12	1			○					○					○
見沼	片柳	18	-	18	1100	お正月のおもてなし料理教室	お正月を簡単に華やかにできるおもてなし料理を学びます。	料理研究家・管理栄養士	12月	1	どなたでも	10	1										○	○	○	○
見沼	七里	19	-	12	1100	e公民館(おうちこうみんかん) おうちで和菓子作りに挑戦しよう!	おうちでも簡単にできる和菓子作りの動画配信を行いました。	公民館利用団体代表者	9月	1	どなたでも	1	1								○	○	○	○	○	
見沼	春岡	20	-	8	1210	手打ち蕎麦教室	蕎麦打ちを学びました。	蕎麦打ち倶楽部	12月	1	成人	10	1				○	○					○	○	○	○
見沼	春岡	20	-	9	1300	郷土料理Ⅰ 太巻き祭り寿司に挑戦	郷土に伝わる太巻き祭り寿司の作り方を学びました。	料理研究家管理栄養士	10月	1	成人	9	1										○	○	○	○
見沼	春岡	20	-	16	2520	夏休み子ども公民館「料理教室」	クッキー作りを学びました。	料理研究家	8月	1	小学生	15	1								○					○
見沼	春岡	20	-	18	2521	日曜日子ども公民館	マフィンの作り方を学びました。	料理研究家	12月	1	小学生	8	1								○					
中央	鈴谷	21	-	17	2600	障害者のための社会参加支援講座「料理教室」	障害者が料理を楽しむ交流を深めました。【共催】障害者総合支援センター	料理教室講師	10月	1	障害のある方 18歳以上	5	1				○						○	○	○	
中央	与野本町	23	-	6	1000	スマイルママPart3	食育学習事業 離乳食教室(一緒に楽しく食べる)お子様が喜ぶレシピ紹介【共催】ひなどり保育園	ひなどり保育園栄養士	9月	1	首が座ったお子様～11ヶ月の乳児とその保護者	12	1							○						○
中央	上落合	24	-	4	1100	そば打ち教室	そば打ちを体験するとともに、蕎麦の栄養価や含まれるビタミンなどの成分を知り、食品としての蕎麦を通してバランスの良い食生活についても学んだ	さいたま蕎麦打ち倶楽部	11月	1	20歳以上の方	10	1										○	○	○	○

令和2年度公民館事業報告書

件数total												総回数	参加延人数	食育総回数	食育の目標					食育の各年齢期					継続				
98												163	2742	104	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学 齢 期	青 年 期	成 人 期	壮 年 期	高 齢 期					
中央	下落合	25	9	1300	日本伝統のスイーツ 「練り切り講座」	「練り切り」作りを通して、日本の伝統的な和菓子について学びました。	実技指導者 助手(1名)	12月	1	20歳以上	8	1					○	○					○	○	○	○			
桜	田島	26	16	1800	(人権講座)男の料理教室	料理の基礎を学び、これまで女性の仕事とされていた料理の役割分担意識を見直すきっかけをつくった。	料理研究家	9月	1	成人男性	4	1		○											○	○	○	○	
桜	田島	26	18	1010	介護予防事業 たじま倶楽部・後期	健康増進などのプログラムを通じて、地域で暮らす高齢者の生きがい探しや仲間作りを促しました。	理学療法士、野菜ソムリエなど	9月～12月	5	65歳以上	297	1					○										○		
桜	田島	26	27	1100	e公民館「公民館でお菓子作り」	家庭で簡単にできるお菓子作りを動画で配信しました。	公民館職員	4月	1	どなたでも		1		○															
桜	土合	27	3	1300	酒造見学	日本酒を知ることができました。	内木酒造社長	10月	1	成人	13	1						○								○			
桜	大久保	28	20	2000	みそ作り講習会	みその材料の基礎知識と講師自家製の麴を材料にみその作り方を学びました。	伝承料理指導者	3月	1	成人の方	8	1					○	○									○	○	
桜	栄和	29	5	1010	公民館介護予防事業 やわらぎ学級	生活全般にわたる知識習得、レクレーションを通し、仲間づくりを行いました。	病院職員、野菜ソムリエ、他	8月～3月	7	65歳以上	122	1				○												○	○
桜	栄和	29	18	1100	食育講座「シュトーレンを作ろう」	クリスマスの時季に、季節のお菓子(シュトーレン)作りを行いました。	パン作り講師	12月	1	さいたま市在住・在勤の成人の方	15	1						○	○										
桜	栄和	29	23	1100	e公民館 手作りパン教室	初めての方でも簡単にできるパン作りを公民館利用団体が映像で紹介しました。	パン作り講師	11月	1	どなたでも		1		○															
桜	大久保東	30	13	1700	防災講座～水害から身を守る～	水害から身を守る方法等を学んだ。	防災士・さいたま市防災アドバイザー	9月	1	どなたでも	14	1						○	○								○	○	
桜	大久保東	30	22	2500	桜区5館公民館共催「君も減災マスターになろう！」	小学生が、防災や減災の実践的スキルを学んだ	ボーイスカウト	10月	1	桜区小学生	31	1						○											
浦和	領家	32	10	2521	こどもクッキング教室「楽しいクリスマス!みんなでおからのカップケーキと鶏肉&キノコのパスタを作ろう」	仲間と一緒にクリスマス料理や食事をする事で、食に対する満足感や楽しさを感じ異学年との交流を図りました。	料理研究家	12月	1	小学生3～6年	5	1						○	○									○	
浦和	領家	32	13	1100	美味しい韓国家庭料理を作ろう①	韓国の家庭料理を学び、韓国の食文化を知りました。	韓国料理シェフ 韓国料理調理助手	9月	1	どなたでも	5	1						○	○									○	

令和2年度公民館事業報告書

件数total									総回数	参加延人数	食育総回数	食育の目標					食育の各年齢期					継続							
98									163	2742	104	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→												
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学 齢 期	青 年 期	成 人 期	壮 年 期	高 齢 期					
浦和	領家	32	-	14	1100	美味しい韓国家庭料理を作ろう②	韓国の家庭料理を学び、韓国の食文化を知りました。	韓国料理シェフ 韓国料理調理助手	9月	1	どなたでも	5	1		○	○		○					○	○	○	○	○		
浦和	上木崎	34	-	14	1000	アイシングクッキーにチャレンジ！～ Halloween ver.～	子育て中のリフレッシュを目的として、アイシングクッキーを作りました。	管理栄養士	10月	1	20歳以上の方	12	1		○										○	○	○		
浦和	上木崎	34	-	15	1100	薬膳から学ぶ体づくり	薬膳の知識を学び、食生活や健康への関心を高めました。	料理研究家	11月	1	どなたでも	6	1		○	○	○								○	○	○	○	
浦和	大東	35	-	17	1100	男の料理教室	男性でも手軽に作れる和食と洋食の料理の作り方を学び、料理に興味関心を持っていただきました。	料理研究家	11月	2	男性の方	12	2				○	○							○	○	○	○	
浦和	仲本	36	-	5	1000	親の学習事業／ 父と子のクッキング教室	父と子でクッキングをしながら親子、参加者同士の交流を図りました。 (講師10,000円×2名、ファシリ3,000円×2名)	栄養士2名、ファシリ2名	12月	1	小学生と保護者	10	1		○		○				○					○	○	○	○
浦和	本太	38	-	5	1000	親の学習事業/味覚を育てるお出汁講座	子育て中の方、これからママになる方のために、栄養士による出汁の上手な取り方や離乳食などについて学びました。	病院職員	11月	1	妊娠中・子育て中の方	9	1				○			○						○			
浦和	本太	38	-	23	1600	感染症に負けない食生活の知恵	感染症、免疫学の歴史、免疫アップのために必要なことを学び、食生活、生活習慣などを考えました。	健康管理士上級指導員	3月	1	20歳以上の方	15	1				○										○	○	
浦和	北浦和	41	-	14	2500	君も減災マスターになろう	防災・減災のスキルを学んだ。また、実際に非常食(アルファ米・非常用味噌汁・非常用ビスケット)を作って食べ、食について考えました。	ボーイスカウトさいたま第202団	9月	1	小学生とその保護者	13	1		○	○		○							○		○	○	○
浦和	北浦和	41	-	23	1100	韓国料理を作ってみよう	家庭で出来る韓国料理の作り方を学びました。	韓国料理店オーナー助手(1名)	12月	1	どなたでも	10	1		○			○								○	○	○	○
浦和	南筒	42	-	9	1100	手打ち蕎麦作り教室	地域の蕎麦打ち愛好会による蕎麦作り教室を実施しました。	おおくぼ二八会	12月	1	20歳以上の方	8	1		○	○	○		○							○	○	○	○
南	文蔵	43	-	9	1000	【親の学習事業】② 親子でパン作り教室	子育て中の親同士が、子育てについて語り合い、学び、親としての成長を支援する講座を実施した	趣味・実技技能者	11月	1	小学生とその保護者	11	1		○						○						○	○	○
南	南浦和	44	-	15	1100	快適ライフ料理教室② 「美味しい和食入門」	基本の和食料理を学びました。	料理研究家	12月	1	成人	12	1				○	○								○	○	○	○
南	南浦和	44	-	16	1100	元気な家族の食育講座②	健康に留意したあらゆる世代の向けの料理を学びました。	食生活改善推進員	11月	1	成人	12	1				○	○								○	○	○	○

令和2年度公民館事業報告書

件数total									総回数	参加延人数	食育総回数	食育の目標					食育の各年齢期					継続				
98									163	2742	104	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児 期	学齢 期	青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期		
南	六辻	46	-	25	1100	e公民館 「おうちでお料理づくり」	自宅において楽しく料理ができるように料理のテキストを配信しました。	料理指導者	5月	1	どなたでも	1		○	○	○	○			○	○	○	○	○		
南	西浦和	47	-	1	1010	わかば学級	シニア世代が、健康で楽しく生活するために役立つこと学び、また、地域の仲間作りをしました。	趣味・実技指導者 等	8月～12月	11	65歳以上	227	1			○	○								○	○
南	東浦和	49	-	1	1010	生きがい健康づくり教室 さわやか学級(前期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいづくり、食育などを学びました。	生活講座講師、音楽家等	4月～9月	6	65歳以上	213	1	○	○	○	○	○	○							○
南	東浦和	49	-	2	1010	生きがい健康づくり教室 さわやか学級(後期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいづくり、障害者や人権問題、食育などを学びました。	教養健康指導者、生活講座講師、音楽家、講師等	10月～3月	5	65歳以上	174	1	○	○	○	○	○								○
南	善前	50	-	1	1010	高齢者学級(前期)「善前菜の花学級」	高齢者の生きがいづくりを目的に、落語鑑賞、歌声サロン、食育(高齢者に必要な栄養をとる食事)などの学習機会を提供した。	病院職員他	5月～10月	3	65歳以上	63	1	○		○										○
南	善前	50	-	5	1010	シニア向けそば打ち教室	高齢者を対象にそば打ち教室を実施し、講座を通して日本の伝統的な食文化について学びました。	さいたまそば打ち 倶楽部	12月	1	65歳以上	10	1		○			○	○							○
南	善前	50		16	2521	子ども公民館 茶道教室	茶道を通して日本の伝統文化の学び、さびを学びました。	善前公民館登録サークル	10月	1	小学生	15	1		○					○						○
南	善前	50		18	2521	子ども公民館 パン教室	ウイナーロールパン、コーンマヨパンを調理し、料理することの楽しさを学びました。	ジャパンホームベーキングスクール教師	11月	1	小学生	13	1		○		○			○						○
南	善前	50	-	26	1100	デトックス料理を作ってみよう!(e公民館)	体に溜まった老廃物を排出する料理の調理法と食の大切さを学びました。	料理研究家	5月	1	どなたでも		1	○		○					○	○	○	○		
緑	原山	54	-	8	1100	薬膳料理講座	薬膳料理の調理法と栄養について学び、試食しながら交流を図った。	国際中医薬膳師 料理研究家	11月	1	どなたでも	8	1					○				○	○	○	○	
緑	美園	55	-	1	1010	生きがい健康づくり教室 「しらすぎ大学 後期」	高齢者の生きがいづくりを目的に、食育、歴史などの学習機会を提供した。	数学研究者	9月～3月	8	65歳以上	261	1	○												○
緑	美園	55	-	11	2500	畑であそぼ!～農×食×親子×Misono～②秋のさつまいも編	地元の農家と連携して親子で体験する農作業やその収穫物を味わうことで地元愛を育み、地域の仲間と共同する楽しさを感じました。	農家	10月	2	幼児・小学生とその保護者	40	2				○	○	○	○	○			○		○
緑	美園	55	-	13	2600	シェフから学ぶ素敵ランチ	地域のレストランシェフから簡単で美味しい料理を学びながら交流を図りました。	フレンチシェフ	11月	2	どなたでも	15	2	○	○	○	○	○				○	○	○	○	

令和2年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延人数		食育総回数		食育の目標					食育の各年齢期					継続	
98												163		2742		104		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→						
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学 齢 期	青 年 期	成 人 期	壮 年 期	高 齢 期					
緑	美園	55	-	17	1010	俺に任せとけ！オトコの家事術～シニア編～	男性の仕事力を家事力に変換し健康につながる家事教室を行いました。	オトコの家事教室カジョス運営	12月	2	どなたでも	9	2	○	○				○							○			
緑	美園	55	-	19	2600	美園うたカフェ9月～地域のお茶の間づくり、いちにのさんぼ～	ギター伴奏で歌い、元マスターが淹れる本格コーヒーを味わい地域のお茶の間として公民館を楽しむ契機を作りました。	元喫茶店主	9月	1	どなたでも	16	1		○	○			○						○	○	○	○	○
緑	美園	55	-	20	2600	美園うたカフェ10月～地域のお茶の間づくり、いちにのさんぼ～	ギター伴奏で歌い、元マスターが淹れる本格コーヒーを味わい地域のお茶の間として公民館を楽しむ契機を作りました。	元喫茶店主	10月	1	どなたでも	16	1		○	○			○						○	○	○	○	○
緑	美園	55	-	21	2600	美園うたカフェ11月～地域のお茶の間づくり、いちにのさんぼ～	ギター伴奏で歌い、元マスターが淹れる本格コーヒーを味わい地域のお茶の間として公民館を楽しむ契機を作りました。	元喫茶店主	11月	1	どなたでも	16	1		○	○			○						○	○	○	○	○
緑	美園	55	-	22	2600	美園うたカフェ12月～地域のお茶の間づくり、いちにのさんぼ～	ギター伴奏で歌い、元マスターが淹れる本格コーヒーを味わい地域のお茶の間として公民館を楽しむ契機を作りました。	元喫茶店主	12月	1	どなたでも	16	1		○	○			○						○	○	○	○	○
岩槻	岩槻本丸	56	-	14	1900	e公民館 簡単キムチ作り	韓国家庭料理の作り方を韓国語を交え動画配信しました。	韓国語講師	1月	1	市内在住・在勤の成人の方		1						○						○	○	○	○	
岩槻	岩槻本丸	56	-	20	1100	e公民館 親子料理教室「学校給食の人気メニューをつくろう」	給食レシピを家庭向けにアレンジして公開しました。	さいたま市職員	5月	1	どなたでも		1	○	○	○			○						○	○	○	○	○
岩槻	岩槻本丸	56	-	21	1100	e公民館 親子料理教室「学校給食の人気メニューをつくろう」その2	給食レシピを家庭向けにアレンジして公開しました。	さいたま市職員	7月	1	どなたでも		1	○	○	○			○						○	○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	57	-	8	1100	料理教室「和のおかず」	食の大切さを学ぶため、旬の食材を使った料理教室を実施しました。	料理研究家	9月	1	市内在住・在勤の成人の方	12	1	○	○	○									○	○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	57	-	10	1300	手打ちそばをつくろう	伝統的に伝わる手打ちそばの作り方を学びました。	そば打ち学習団体会員	11月	1	どなたでも	12	1		○										○	○	○	○	○
岩槻	岩槻南部	58	-	2	1000	親の学習事業③「親子で食育あそび」	親子で料理を楽しみ、親の学習では子育てについての意見交換を行いました。	管理栄養士	12月	1	2歳～未就園児とその保護者	14	1		○				○						○				
岩槻	岩槻南部	58	-	7	1100	手打ちそば教室	手打ちそばの作り方を基礎から学びました。	元公民館長	11月	1	どなたでも	10	1		○	○	○								○	○	○	○	○
岩槻	岩槻南部	58	-	24	1100	e公民館「公民館で育てた野菜でトマトソース作り」	家庭で作ることができるトマトソースの作り方について動画公開しました。	公民館職員	7月	1	どなたでも		1		○										○	○	○	○	○

令和2年度公民館事業報告書

件数total									総回数	参加延人数	食育総回数	食育の目標					食育の各年齢期					継続				
98									163	2742	104	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学 齡 期	青 年 期	成 人 期	壮 年 期	高 齡 期		
岩槻	岩槻南部	58	-	25	1100	e公民館「生地からのピザ作り」	生地から自分で作ってフライパンで焼けるピザ作りについて動画公開しました。	公民館職員	9月	1	どなたでも		1		○						○	○	○	○	○	
岩槻	岩槻南部	58	-	26	1100	e公民館「公民館厨房・うどん作り」	家族で作る手打ちうどん作りについて動画公開しました。	公民館職員	3月	1	どなたでも		1		○			○			○	○	○	○	○	
岩槻	岩槻北部	59	-	2	1000	親の学習事業2親子でつくろう年越しそば教室	年越しそば作りを親子で行い、親の学習を開催しました。	そば打ち講師	12月	1	市内在住の小学生と保護者	10	1		○						○				○	
岩槻	岩槻北部	59	-	7	1100	料理教室	ヨーロッパ野菜を使った料理を学びました。	野菜ソムリエ	11月	1	市内在住・在勤の成人の方	8	1					○					○	○	○	○
岩槻	岩槻北部	59	-	9	1100	郷土料理	恵方巻作りを学びました。	料理研究家	1月	1	市内在住・在勤の成人の方	7	1					○					○	○	○	○
岩槻	岩槻北部	59	-	21	1100	e公民館 おうちでそば打ち	自宅で気軽に手打ちそばを作れるよう動画配信しました。	そば打ち講師	5月	1	どなたでも		1					○			○	○	○	○	○	
岩槻	岩槻城址	60	-	4	1010	介護予防事業 生きがい健康づくり教室 「白鶴学級 I」	介護予防を目的とした様々な学習講座を実施しました。	埼玉県郷土文化会理事	9月～12月	12	65歳以上	257	1		○										○	

4 市立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況

○小学校

【西 区】	・馬宮西小学校				
【北 区】	・東大成小学校	・日進小学校	・大宮別所小学校	・泰平小学校	
【大宮区】	・大宮小学校	・大宮東小学校	・大宮南小学校	・大宮北小学校	・桜木小学校
	・大成小学校	・上小小学校			
【見沼区】	・大砂土東小学校	・片柳小学校	・蓮沼小学校	・大谷小学校	東宮下小学校
【中央区】	・与野本町小学校	・下落合小学校	・鈴谷小学校		
【桜 区】	・大久保小学校	・栄和小学校			
【浦和区】	・高砂小学校	・常盤小学校	・仲本小学校	・北浦和小学校	・岸町小学校
	・常盤北小学校				
【南 区】	・南浦和小学校	・浦和別所小学校	・沼影小学校	・浦和大里小学校	・善前小学校
	・向小学校	・辻南小学校			
【緑 区】	・三室小学校	・尾間木小学校	・原山小学校	・野田小学校	・大牧小学校
	・芝原小学校	・美園北小学校			
【岩槻区】	・太田小学校	・川通小学校	・和土小学校	・慈恩寺小学校	・城北小学校
	・徳力小学校	・西原小学校			

※中学校・特別支援学校の食育取組状況は P41～48

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do			Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和2年度)			成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
太平小学校	図書給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 677人	実施日:毎月1回 場所:各教室 内容:行事に関わる紙芝居を図書委員会が読み聞かせをし、その行事食を食べる。	行事に関心を持ち日本の文化を食から理解する。	テレビ放送を見ながらの食事になってしまふ。	
協働	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
大宮小学校	家庭科「1食分の献立を考えよう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:献立→6年生 喫食→全教職員 720人	実施日:令和3年2月4日(木)・9日(火)・24日(水) 場所:大宮小学校 内容:家庭科の授業で考えた献立を提供する。	家庭科の授業を通して、毎日食べている給食がどんな事に気をつけて立てられているのかを学び、大変さが分かったとの声が多かった。また献立が選ばれた児童だけでなくクラスみんなで喜び合っているのが見れてとても良かった。	給食だよりには、お知らせはできなかったが、写真などはホームページにしかあげなかったもので、給食たよりに載せられたらよかった。	栄養士が授業の中で献立の立て方を話した。担任の先生からは、実際に立てている人からの話だと子どもたちもよく話を聞くと言われた。五大栄養素などを振り返りながら献立作成について学んだ。みんなよく話を聞いてくれた。実際の給食提供日は、そのクラスに行き、感想などを聞いた。みんなとてもよく食べてくれた。
協働	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
大宮東小学校	お米の作り方(お米農家さんからの講話)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:5年生 137人	実施日:令和2年7月17日(金) 場所:集会室 内容:学校にお米を納品して下さる「馬宮米部会」の方から、お米作りについての講話をしていただく。その後、給食を一緒に食べる。	身近な地域でも農業が行われていることを知り、お米作りの素晴らしさ、苦労を知る機会となり、社会科で学んだ米作りに対する理解もより深めることができた。給食も馬宮米を使用し、偏食・好ききらいの多い学年だが、残さず食べる意識も高まった。	講話の最後に、なぜ国産のものにこだわるかという部分を栄養士から説明するところでも、より児童の学びが深まる内容も話したい。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—					
大宮南小学校	6年生オリジナル献立(家庭科)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童・職員 840人×3回	実施日:2020年12月4日(金)、2020年12月8日(火)、2020年12月21日(月) 場所:本校 内容:給食1食分の献立を考える(講義・演習)	家庭科の学習を生かして実践する機会があったことで、より実生活につながる学びになった。また、6年生の考えた給食を食べた下級生にとっても、給食に対する興味・関心が高まった。食物アレルギーや価格との兼ね合いが難しいため、今年度は「和食献立」をテーマとした。	食物アレルギーや価格との兼ね合いが難しいため、来年度も「和食献立」とし、献立作成を行う予定である。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—					
大宮南小学校	「いただきます」は、どんなことば?(学級活動)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:1年児童・保護者 142名+保護者	実施日:2021年2月24日(水)、2021年2月25日(木)、2021年2月26日(金) 場所:本校 内容:食事は生き物の命をいただいていることを確認し、食べ物への感謝の心を醸成する。5日間の実践を行い、保護者の方からコメントを記入してもらう。(講義・実践・おたよりのウェブページ掲載)	授業前よりも、気持ちを込めて食事のあいさつをしたり、苦手なものも1口食べようとしたりする姿が見られた。残菜も減った。「食事への姿勢が変わった」「子どもにとって、とてもためになる授業だった」と保護者からコメントがあった。	全国学校給食週間に合わせて行えると、給食への興味関心をより一層高めることができるので、尚良い。	
協働	(新規)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
大宮北小学校	行事・郷土食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 全教職員 330人	実施日:毎月1回以上 場所:本校 内容:主な行事に合った食事や、都道府県の食事を給食を通して知る。	さまざまな郷土の特色ある食事に触れたり、伝統的な食事をするので、日本には様々な食事があることを知ることができた。	なかなか食べられない食事でも多かったため、食わず嫌いになることもあった。	
協働	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)				成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容												
大宮北小学校	6年生リクエ スト給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全児童 全教職員 330人	実施日:2021年1,2月 場所:本校 内容:6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立を提供する。	6年生が家庭科の学習を通して、1全児童が食べることを考慮し、テーマ、栄養バランス、彩り、盛り付け等を考えることで、食に対する意識が高まった。また、6年生がたてた献立ということもあり、食品ロスについても意識していた。	盛り付け表に表記するだけでなく、6年生が提案した献立ということを、さらに浸透させてもよかった。		
協働—	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
桜木小学校	給食週間に かかわる事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 490人	実施日:R3年1月 場所:教室 内容:給食委員会児童によるクイズや紙芝居を放送。 ・給食標語を募集し、クラス代表の作品を掲示。 ・食育推進ポスターを作成し、掲示。	給食に関心をもち、感謝の心や食事の大切さ、さいたま市の特産物について知ることができた。	ポスターの募集に時間をかけることができなかったので、来年度は夏の課題としたい。		
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—					
大成小学校	夢の給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 実施回数:5回 947人	実施日:3月 場所:教室 内容:6年生が考えた給食の献立を全校児童でいただく。	郷土料理や国際料理、地産池消等、食に関する興味関心を持つ機会となった。	今までに出たことのないメニューになる場合もあり、栄養士への負担が大きくなってしまふ。作業工程が多くなる。皿の数に限度があり、カップ容器の商品を採用せざるを得なくなる。		
協働—	(継続)	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—					
大成小学校	郷土料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 947人	実施日:通年 場所:教室 内容:全国各地の郷土料理を給食献立に取り入れる。	郷土料理や地産池消等、食に関する興味関心を持つ機会となった。			
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—					
上小小学校	絵本読み聞かせ コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全児童・職員 585人×11回	実施日:2020年10月～2021年3月まで各月2回(1月のみ1回) 場所:上小小学校 各教室・職員室 内容:絵本に登場する料理や食材を給食に取り入れ、当日は読み聞かせをビデオ放送する。	・絵本に出てくる料理を、実際に目で見て食べることで、児童の食と読書への関心が高まった。 ・行事食や給食に関する絵本も取り入れ、様々なことへの興味、関心が高まった。 ・コロナ禍で会食中話することができない中、楽しく食べられた。	読み聞かせに集中しすぎて給食を食べきれない児童がみられたが、慣れてくるとペース配分もでき、しっかり食べることが出来ていた。	 	・楽しみにする児童が見られ、いつもより残菜も少なくなったように感じた。
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—					
大砂土東小学校	図書コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全児童 1260人	実施日:2020年10月 場所:各教室 内容:読書週間に合わせて、物語に出てくる料理を給食で再現する。図書委員の児童が集会でPRする。	給食と図書のコラボにより、喫食率と本の貸し出し率の増加につながった。	食べたいものが出てくる本を探すことが主となってしまった。		
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)												
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題									
片柳小学校	なかよし給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:全児童 540人	実施日:年2回(6月、11月)※本年度は中止 場所:教室 内容:給食を異学年と食べ、一緒に楽しく食べることにより交流を図る。	異学年との交流で、それぞれの立場で協力して活動する態度を養うことができた。			
協働—	(新規)	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—						
蓮沼小学校	シェフ給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 784人	実施日:令和2年12月8日(火) 場所:各教室 内容:地元シェフを招いてのシェフ給食	ホテルのシェフの作る本格的フランス料理を食することで、よい食の経験となった。また、作ってくれる人への感謝の気持ちを育む機会となった。	・校内の教職員を対象としたシェフ給食の試食会をする日程の確保が難しかった。 ・普段食べられない食材の味付けなどのため、残菜が多かった。		
協働—	(新規)	—	—	○	○	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—						
大谷小学校	給食集会・ 屋のテレビ放送	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:1～6年生 1225人	実施日:2021年1月13日(水)・27日(水)・29日(金) 場所:各教室 内容:給食クイズ、栄養士へのインタビュー、残菜調べ結果発表、好きな給食アンケート結果発表、調理員へのお礼の手紙贈呈、標語入賞者発表、リクエスト献立の入選者発表、給食調理の様子、栄養をテーマとした本の読み聞かせ	給食について興味、関心をもち、少しでも食べようという意欲を高めることができた。 食べ残しが多い料理と少ない料理を伝えることで、児童と教職員へ嗜好状況を周知し、指導の強化につなげることができた。	食事中の姿勢やはしの持ち方、食事マナーなどに課題が見られる。家庭とも連携し、今後も継続して指導していきたい。		
協働—	(継続)	—	○	—	○	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—						
東宮下小学校	ドリームランチ	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 全児童152人	実施日:1月7日 1月12日 3月15日 場所:各教室 内容:各児童が考えた給食を「ドリームランチ」として、提出し、良いものに投票する。選出されたものが実際の給食として提供される。	普段提供されたものを食べるだけの児童にとって、バランスや彩り、味など食事作りの楽しさや大変さを知る良い機会となった。高学年は家庭科での学習と連携することで、栄養バランスの良い食事についての理解が深まった。選出された給食が提供されるのを楽しみにしている児童の様子が見られた。		・自分の考える献立が給食になると思うと、ワクワクしながら考える児童の様子が見られた。 ・掲示された代表作品を興味深そうに眺め、どれにしようかと悩む様子が見られた。	
協働—	(新規)	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—						
与野本町小学校	給食週間 ～日本全国 食べ歩きの旅を楽しもう!～	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 全校児童518人	実施日:令和3年1月18日(月)～22日(金) 場所:教室 内容:コロナ禍で旅行に出かけられない今、日本各地の郷土料理を体験することで、旅行気分を味わい、給食への興味関心を高める。	児童の毎日の給食への興味関心がさらに高まった。 保護者の興味も高まり、家庭での給食の会話が増えた。	各地の特徴ある食材の実物を教室で児童に見せたり触らせたりしたかったが、コロナ禍で難しかった。		
協働—	(新規)	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—						
下落合小学校	絵本とのコラボ給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:本校児童 790人	実施日:2020年11月25日(水)、11月26日(木) 場所:下落合小学校 内容:学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。 11月25日(水)ドララちゃんのドラキュラスープ 11月26日(木)やまੰばの特製ご飯	喫食率 11月25日(水)97.5%(残食率2.5%) 11月26日(木)91.2%(残食率8.8%) 「絵本給食の前後、図書館を利用し、該当する絵本を手取る児童が多かった。」(司書)、「絵本給食の本を読んだ。」(児童)という感想があった。	絵本に出てくる料理やお菓子は、アレルギー対応の観点から、絵本どおりの食材や作り方で実施することが難しい。		
協働—	(継続)	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—						

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
鈴谷小学校	オリパラ給食・たペリンピック	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0 5歳	学齢期 6 15歳	青年期 16 24歳	成人期 25 39歳	壮年期 40 64歳	高齢期 65歳	対象:鈴谷小学校 全校児童 493人	実施日:オリパラ給食…令和2年9月9日、10月27日、11月4日、12月14日、令和3年2月25日、3月2日 たペリンピック…令和3年1月18日、20~22日、27日、29日 場所:鈴谷小学校各教室 内容:外国の料理を給食に取り入れ、食の面から、食文化理解や国際理解、外国への関心を高める。	・子どもたちは、オランダ、スペイン、イタリア、ベトナム、インド、中国、メキシコ、韓国、フランス、日本、ペルー、カナダの給食を食べ、その国や料理に興味をもったり、いろいろな料理を進んで食べようという気持ちが高まりました。	・子どもたちが食べやすいように、外国の料理の調理法をアレンジするのが難しかった。	 オリパラ給食【ペルー】バターライス、ロモ・サルタード、野菜スープ、フルーツヨーグルト
協働 —	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—			
鈴谷小学校	フルコース給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0 5歳	学齢期 6 15歳	青年期 16 24歳	成人期 25 39歳	壮年期 40 64歳	高齢期 65歳	対象:6年生 83人	実施日:令和3年3月5日、8日、12日 場所:鈴谷小学校第1会議室 内容:テーブルマナーを守って食事をして、洋食の作法を学ぶ。メニュー:サラダ、バターロール、コーンスープ、ハンバーグ、プリン、紅茶	・子どもたちは、各学級で事前学習をしておくことで、洋食のマナーを、フルコースの料理を楽しみながら学ぶことができた。	・感染症対策のため、時期を変更したり、保護者の手伝いをなしにしたりして、例年と異なり、少ない人数で安全に配膳できる計画を立てることに時間がかかった。	
協働 —	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—			
大久保小学校	栽培収穫体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0 5歳	学齢期 6 15歳	青年期 16 24歳	成人期 25 39歳	壮年期 40 64歳	高齢期 65歳	対象:1年生、特別支援学級、6年生 (全校児童) 85人 (245人)	実施日:さつまいも 令和2年11月20日(金)の給食で使用 五関菜 令和3年2月26日(金)の給食で使用 場所:学校ファーム、教室 内容:さつまいも、五関菜の生産体験 収穫物の給食使用	食材について興味・関心が高まった。 地元の野菜への理解が深かった。	収穫時期が天候や成長状態に左右されるため、使用可能な食材の安定供給が困難。	
協働 —	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—			
大久保小学校	児童が考えた献立を給食として提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0 5歳	学齢期 6 15歳	青年期 16 24歳	成人期 25 39歳	壮年期 40 64歳	高齢期 65歳	対象:6年生 (全児童) 39人 (245人)	実施日:令和3年2月19日(金)、2月22日(月) 場所:6年生教室 内容:家庭科の授業で考えた献立を給食として提供する。	児童が考案した献立を提供することにより、他学年給食にも興味・関心が高まった。	児童の思いを給食としてどう取り入れるか、作業工程、価格、アレルギー等を考慮することが今後の課題である。	
協働 —	(新規)	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
栄和小学校	児童が考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0 5歳	学齢期 6 15歳	青年期 16 24歳	成人期 25 39歳	壮年期 40 64歳	高齢期 65歳	対象:全児童・教職員 実施回数:6回 参加者数:1120人	実施日:2021年 2/4 2/9 2/17 2/25 3/2 3/10 場所:栄和小学校 内容:家庭科の授業で考えた献立を給食で提供する	6年生が考えた献立を提供することにより、同学年では食に対する理解が深まり、低・中学年では家庭科の学習に対する期待が高まった。	児童の思いを忠実に献立に反映させることと調理作業や価格とのバランスが課題である。	
協働 —	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—			
高砂小学校	絵本とのコラボ給食(ブックスランチ)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0 5歳	学齢期 6 15歳	青年期 16 24歳	成人期 25 39歳	壮年期 40 64歳	高齢期 65歳	対象:全校児童 1003人 4回実施	実施日:令和2年11月、12月(全3回) 場所:高砂小学校 内容:学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。 11月13日(金)くいしんぼうのクジラ(セルフハンバーガー) 11月25日(水)きんぴらきょうだい(ごぼうとにんじんのきんぴら) 12月2日(水)おでんのおうさま(おでん)	今年度は「食を楽しむ」ことをテーマに献立を選んだ。普段とは違った角度から食に親しむきっかけになった。児童も食への意識を改めて認識することで食への意欲を高めている様子だった。	・喫食中にテレビ放送に集中するため、限られた給食の時間の中で適した絵本の選定が必要である。 ・よりよい給食指導につながるように、日報等を活用して事前に担任に詳しい情報提供しておく、より効果的である。	本校児童が日頃から苦手とする食材を扱った絵本を活用して、給食の時間に教員や図書委員会の児童が読み聞かせを行った。(事前にビデオ録画し、テレビ放送にて実施)
協働 —	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—			

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
高砂小学校	児童考案の 献立の実施 (わたしの考 えた献立)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 1003人 4回実施	実施日:令和3年2月、3月(全4回) 場所:高砂小学校 内容:普段の給食や、家庭科の学習を活かし、冬休みの課題として5・6年生が献立作成に取り組む。その中からいくつかの献立を選び、3学期の給食で実施する。 2月24日(水)洋食屋さん風給食 2月25日(木)お祭り給食 3月8日(月)春の食材給食 3月9日(火)みんな大好き鬼滅給食	今年度は「食を楽しむ」ことをテーマに献立を選んだ。児童発信の献立のため、周りの児童や下級生の興味・関心が非常に高かった。	・食材の確保、価格、アレルギー対応などの条件があるため、選ばれた児童との打合せ時間が必要である。	給食週間の取り組みの一つとして、1月のテレビ放送で選ばれた献立を発表した。その後、2・3月の給食で提供し、給食日より家庭にも情報提供を行った。また、今年度は献立の感想を全クラスからもらったことで、考案した児童だけではなく、給食を食べた全校児童も給食に向き合い、楽しんで食べることができた。
常盤小学校	食育授業 (8020歯の 健康教室学 級単位指導)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:本校5年生 147人	実施日:令和3年2月26日(金) 場所:さいたま市立常盤小学校 内容:かむことの大切さ	普段食事をする際にどのくらい噛んでいるのかを振り返る機会となった。 また、よく噛むことの大切さ(「ひみこのはがーいぜ」の標語を使用した指導・唾液の効果・食べ物の分解への関わり)も理解することができた。	コロナ感染症防止対策のため、実際に噛むことによる味の変化を実感しながら学習することができなかった。 事前準備に時間がかかり、教員側の負担が大きかった。	
常盤小学校	食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:本校2年生 163人	実施日:令和2年7月15日(水) 場所:さいたま市立常盤小学校 内容:おやつを食べ方を考えよう	普段食べているおやつの特徴を知り、自分のおやつを振り返る機会となった。 まだ自ら食事を作る機会のない年齢なので、おやつを食べることをきっかけとして食事を選択する際考えて選択する必要があることを知る機会となった。	家庭環境等により、一人ひとりの課題の差が大きかったため、個に応じた意思決定をすることができたとは言いがたかった。また、学習後に振り返るだけでなく、年間指導計画を通し、振り返る機会をつくとより効果的である。	
仲本小学校	食事のマナー教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 第4学年140人 料理クラブ16人	実施日: 2021.2.25(木)、26(金)、3.2(火)(第4学年) 2021.2.22(月)(料理クラブ) 場所:仲本小学校 各教室(第4学年)、家庭科室(料理クラブ) 内容:食事のマナーについて講話、給食	・食事のマナーの大切さを伝えることができた。和食、洋食の食べ方の違いを楽しみながら学ぶことで、家庭においてもマナーについての関心や意識付けをする機会となった。	・マナーについての日々の継続的指導を行っていく必要がある。	児童の感想(アンケートより) ・食事のマナーを知ることができた。 ・マナーを意識して給食を食べるように気を付けていきたい。
北浦和小学 校	図書とのコ ラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 750人	実施日:10月20日 場所:各教室 内容:絵本「サラダで元気」に出てくる「りっちゃんの元気サラダ」を再現して提供した。	さわやか読書(朝)で読み聞かせしてもらった絵本に出てくる料理を実際に目で見て食べることで、食と読書への関心が高まった。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会食中に児童同士が感想を言い合ったり、絵本の内容を話して思い出したりすることができなかった。	
北浦和小学 校	ありがとう集 会(地域との 交流給食)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 703人 地域の方々 50人	実施日:1月31日 場所:各教室 内容:普段お世話になっている地域の方々との「ありがとう集会」の後、一緒に会食した。児童からのリクエストが多かった人気メニューを提供した。	地域の方々との会話をしながら、人気のメニューを味わうことができた。異年齢交流も図れた。後日、防犯ボランティア等で挨拶をする児童が増えるなど、地域の方々との距離を縮めることができた。	当日になり、急遽出欠席が変わるため、対応学級の変更が生じる必要があった。	

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do			Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和2年度)			成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
北浦和小学 校	児童が考えた給食の提供 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 750人	実施日:3月9日～12日 場所:各教室 内容:6年生が家庭科の授業で考えた献立を、再現して給食として提供した。	6年生が工夫して考えた献立を実際に提供することで、給食や家庭科の学習に対する興味・関心が高まった。	栄養バランスのについての学習で考えた献立であったが、代表として選ばれた献立の栄養バランスのよさについて伝えていなかった。そのため、他学年にとっては6年生が考えた栄養バランスの整った給食ではなく、6年生が考えたおいしい給食という認識で終わってしまった。	
岸町小学校	うなぎ給食 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:6年生児童・担任 約120人	実施日:令和3年3月10日(水) 場所:岸町小学校 内容:「浦和のうなぎを育てる会」の協力のもと、地元とうなぎ屋さんに焼いたうなぎのかば焼きを提供する。	本校では、運動会等の行事で「うなぎおどり」を行い、3年生の総合の時間にうなぎの学習をしているため、実際に給食で提供することで、地元浦和のうなぎに対する関心を高めることができた。	・地元の協同組合の協力があることで、全学年での提供が難しい。 ・教育課程との関係で、うなぎについて学ぶ時間の確保が難しい。	
岸町小学校	世界の料理 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全児童・全教職員 約750人	実施日:毎月1回以上 場所:岸町小学校 内容:世界各地の料理を給食で提供し、食文化理解や国際理解・関心を深める。	給食をきっかけに、その国について興味を持つ児童が増えた。いつか実際に行き、本場の味を食べてみたいと言っている児童もいた。	・給食としてレシピ化されていない国の料理が多いため、味付けが難しい。 ・給食として使用できる食材が限られている。	
常盤北小学校	給食集会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:1～6年生	実施日:1月中 場所:校内 内容: ・各学年給食や食に関する作品づくり(標語、カルタ、絵など) ・低学年と給食調理員との会食 ・給食委員会による給食集会	・全校児童が給食や食に関する作品づくりに取り組み、給食や食に対する関心を高めた。 ・代表児童によるビデオ放送での発表を行った。 ・給食委員会児童や栄養士、調理員によるテレビ放送を通して、学校教育への理解を深めた。	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、集会や会食を行うことができなかった。来年度も情勢を見つつ、実施の検討が必要。	全校児童が給食習慣の取り組みに参加し、全校児童分の作品を掲示した。
南浦和小学校	絵本給食 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全教職員 780人	実施日:2020年11月13日(金) 場所:南浦和小学校 内容:絵本に出てくる食事をアレンジして給食にとり入れた。(絵本「ベーコンわすれちゃだめよ!」よりベーコンとたまごのわすれんぼスープ)	司書の先生と協力することで、給食と図書に興味をもつ児童が増えた。	大量調理として、絵本の中の献立を展開することが難しかった。	
南浦和小学校	給食集会 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:本校児童 780人	実施日:2021年1月26日(火)～2月1日(月) 場所:南浦和小学校 内容:郷土料理・調理器具・世界の給食についての新聞作り、調理員さんの紹介、クイズ、感謝の言葉等。	残さず給食を食べようと心がける児童が増えた。調理員さんに感謝の気持ちをもつことができた。郷土料理・世界の料理を学ぶことができた。また、家庭科の学習を深めることができた。	委員会の年間回数がかぎられているため、計画的に準備する必要がある。	

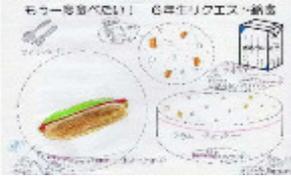
さいたま市の食育取組状況 令和2年度

		Plan										Do			Check		取組の様子など							
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標					5つの「食べる」					実績 (令和2年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳				青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	
南浦和小学校	児童が考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全教職員 780人	実施日:2021年1月26日(火)～2月1日(月) 場所:南浦和小学校 内容:家庭科の授業で考えた献立を提供する。	児童が考案した献立を提供することにより、家庭科の学習がより深まった。	価格、作業工程、アレルギー等を考慮して献立を考えることが難しい。	
協働	(新規)	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
浦和別所小学校	児童が考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童・教職員 1160人	実施日:2021年2月15日、18日、22日、26日 場所:浦和別所小学校 内容:6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立を提供する	全校児童が食べる給食ということを中心に、テーマを決め栄養価・旬・価格・彩りなど考えながら立てることができた。6年生が考えた献立の盛り付け図を掲示し、関心を高めることにつながった。昨年度までは、6年生の欠席児童が多く食べられない児童が多かったが、日程を運くし配慮できた。	全校児童に6年生が考えた献立ということを伝えるために、児童に配布資料を作ってもらうなど工夫していきたい。	
協働	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○	○	—					
沼影小学校	おはなし給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:本校児童 実施回数:6回 参加者:1170人(職員含)	実施日:2020年10、11月中の6日間 場所:沼影小学校 内容:学校図書館にある本に出てくる料理や食材を使った献立を実施した。	・実施日の平均残食率:3.3% ・10月の図書貸出数:1817冊 ・11月の図書貸出数:1863冊 「おはなし給食の題材にした本を読みに来る児童が増加した。	・全員が食べられるようにアレルギー等に配慮した料理やレシピを考えることが難しい。	・図書集では、おはなし給食の題材にした絵本の児童による読み聞かせや、おはなし給食の宣伝、紹介などを行った。 ・当日の給食の関心を高めるため、献立表、盛り付け表でおはなし給食の紹介をした。
協働	(継続)	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
浦和大里小学校	図書コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全児童 880人	実施日:2020年10月 場所:各教室 内容:読書週間に合わせて、図書館司書が選んだ本に出てくる料理を給食で再現し、児童に紹介した。	給食と図書のコラボにより、特に低学年を中心に喫食率と本の貸し出し率の増加につながった。	食べたいものが出てくる本を探すが主となってしまった。	・図書委員が低学年向けの絵本「ねぎぼうずのあさたろう」を読み聞かせ、その日の給食に「ネギたっぷりラーメン」が提供された。それまで貸し出されることが少なかった「ねぎぼうずのあさたろう」シリーズの本の貸し出し数が大幅に増えた。
協働	(新規)	—	—	—	○	—	○	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
善前小学校	読書まつりコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 620人	実施日:2020年11月5日、11日、13日、25日、27日 場所:教室 内容:学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。 11月5日…わかつたさんのプリン(プリン) 男子弁当部(ピビンバ) 11日…大どろぼうホットエンブリッツ(じゃがいものからあげ) 13日…わかつたさんのドーナツ(ドーナツ) 23日…こまつたさんのハンバーグ(ハンバーグ) 27日…こまつたさんのオムレツ(オムレツ)	本に出てくる料理を実際に目で見て、味わうことにより、食と読書への関心が高まった。	使用した本の紹介や読み聞かせなどができるとよかった。図書館教育との共催のため、次年度は未定。	コラボ給食(ドーナツ)
協働	(新規)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
善前小学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 620人	実施日:2021年1月18日～1月22日 場所:善前小学校 内容:学年ごとに給食標語や給食かるたの作成 栄養士、調理員さんへ感謝の手紙の贈呈 給食室の様子を紹介 給食委員による栄養に関するクイズや劇のテレビ放送 給食マナービンゴ ワゴンチェック	・給食標語や給食かるたを作成したこと、地元の食材を知ったり、栄養について考えたりすることができた。 ・給食を作ってくれる方々に日頃の感謝の気持ちを伝えることができた。 ・劇やクイズなど楽しく栄養について知ることができた。	感染症予防の徹底を図り、食の大切さを伝える活動を行ってきたい。	
協働	(新規)	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」										対象ライフステージ					実績 (令和2年度)							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳		高齢期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題			
向小学校	児童の考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 〇人	実施日:2021年1月 場所:各教室 内容:6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、大切な人に食べさせたい給食を考える。各クラスより献立を選び給食で提供する。選ばれた児童は、給食放送で自分が考えた献立の説明を行う。			
辻南小学校	世界の料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 全教職員 519人	実施日:毎月1回 場所:学校 内容:世界各地の料理を給食で提供する。	色々な国の食文化を理解することにつながった。	日本では購入できない食材もあるので、本物の味ではない場合もある。	
辻南小学校	郷土料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 全教職員 519人	実施日:毎月1回以上 場所:学校 内容:日本各地の郷土料理を給食で提供する。	日本の伝統ある優れた食文化やその地域の食に関わる歴史が理解できた。	給食では料理が加熱調理の提供なので、郷土食の種類が限られる。	
三室小学校	本とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童	実施日:2020年10月 場所:各教室 内容:絵本に出てくる食べ物を再現して給食に取り入れた。 「11びきのねことあほうどり」からポテトロッケ 10月12日 「1ねん1くみ1ばんいしんぼう」からチキンカレー 10月13日 「男子☆弁当部」から厚焼き卵 10月15日 「パンダ銭湯」からパンダあんまん 10月27日 「つるばら村のパンやさん」からはちみつのパン 10月29日 など全9回実施	図書室前に秋の読書月間おはなし給食コーナーを設け、給食の盛り付けの写真と共に絵本を紹介したことで食と読書への関心がより高まった。	使用した絵本の読み聞かせなどをできるとなおよかった。	
尾間木小学校	絵本とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 1150人	実施日:10月 読書週間 場所:各教室 内容:絵本に出てくるメニューの給食での提供と併せて、テレビ放送で図書館司書が読み聞かせを行い、児童の読書への意欲関心を高める。	絵本に出てくるメニューに直接触れることで物語をより身近に感じる事が出来た。また、読書への関心が高まった。		
原山小学校	児童のおすすめ献立給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全児童 734人	実施日:2021年1月下旬～2月上旬 内容:5・6年生の家庭科の学習との連携を図り、バランスの取れたおすすすめ献立を考案。各クラス1名選出し、実際に給食にて提供。また、選出された児童は、そのメニューについて、給食の時間にテレビ放送で説明をした。	給食の献立を考えるという目的意識をもち、進んで学習に取り組むことができ、栄養バランスについての理解を深めることができた。		

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和2年度)			成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容												
太田小学校	世界の料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全校児童 全教職員 660人	実施日:毎月1回 場所:学校 内容:世界各地の料理を給食で提供する。	世界の料理を味だけでなく、見た目や香りなどの五感からも知ることができた。	主食、主菜、副菜の全てを、その国の料理でそろえることが難しい。		
協働—	(継続)											○	○												
太田小学校	郷土料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全校児童 全教職員 660人	実施日:毎月1回以上 場所:学校 内容:日本各地の郷土料理を給食で提供する。	各地の郷土料理を味だけでなく、見た目や香りなどの五感からも知ることができた。	主食、主菜、副菜の全てを、その地域の料理でそろえることが難しい。		
協働—	(継続)											○	○												
太田小学校	6年生の給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全校児童 全教職員 660人	実施日:2021年2月1日(月)～26日(金) 場所:学校 内容:6年生が、家庭科「くふうしようおいしい食事」で考えた献立を給食で提供する。給食時間中に、献立を考えた班員で給食のアピール放送をし、五感で6年生の給食について学ばせる。また、「6年生を送る会」と同時期に行うことで、6年生への感謝の心や6年生の素晴らしい姿を喫食者に実感させる。	給食に出る前提で考えることで、価格や組み合わせも考慮して献立が考えられた。	ごはんと味噌汁を使った、本来の授業に見合っていない。		
協働—	(継続)				○	○				○			○												
川通小学校	図書館コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全校児童 126人	実施日:令和2年10月27日 場所:各教室 内容:司書の先生がお勧めする絵本の中に出てくる美味しそうなメニューの再現	絵本の中に登場するピッツアと同じ形での再現だったため、興味を持って食べてくれた。また、絵本の貸出数も増えた。	再現可能な献立か、具体的なレシピがあるかなど、司書・調理員などで協議が必要である。		
協働—	(継続)				○					○			○												
和土小学校	給食集会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全校児童 175人	実施日:2021年1月26日(火) 場所:動画視聴 内容:給食調理員に感謝の手紙の贈呈 給食委員による食に関するクイズや劇	給食作りのビデオを視聴し、調理員さんへの手紙に取り組むことで、感謝の気持ちを表すことができた。給食委員によるクイズや劇で、楽しく食について学ぶことができた。	給食委員の児童の企画や練習に、適切に支援していきたい。		
協働—	(新規)				○					○			○												
慈恩寺小学校		朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:6年生 53人	実施日:12月 場所:さいたま市立慈恩寺小学校 内容:卒業前にもう一度食べたい給食を、1食分の献立に描く。	主食、主菜、副菜の組み合わせや、5大栄養素のバランス、彩りなど、家庭科の調理で学んだことを活かし、献立作成することができた。			
協働					○					○			○												

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など									
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和2年度)		成果	課題										
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容												
城北小学校	本とのコラボ 給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 740人	実施日:2月1日 場所:城北小学校 内容:学校図書館にある絵本に出てくる料理「ひみつのカレーライス」を給食に取り入れた。	給食と図書のコラボにより、給食と図書に興味をもつ児童が増えた。	給食委員会や図書委員会による宣伝があるとより関心を高めることができたと考えられる。			
協働 —	(新規)	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
徳力小学校	新規	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:児童・職員・給食スタッフ 人	実施日:2020年12月15日、2021年3月11日 場所:各教室、職員室、調理室 内容: ①給食において、さいたま市防災課から提供されたアルファ米を利用した災害時メニューの提供 ②各クラスにおいて、アルファ米を水で作る実験・観察 ③給食時に、災害時メニューの説明を放送する。	東日本大震災の発生した日に提供された災害メニュー(アルファ米)を実際に作ってみたことで、各自の意識が高まり、残菜がとても少なかった。また、全校児童で行う14.46の黙とうにも、一連の関連性をもたせることができた。給食室でも調理員が災害メニューに取り組むことで、災害時の対応について教育をすることができた。	アルファ米をパック詰めするのに調理員の人数が必要だった。			
協働 —	(新規)	—	—	○	○	—	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
西原小学校	6年生献立の 実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 648人	実施日:2月4日、2月5日、2月8日 場所:教室 内容:家庭科の授業で6年生の児童が作成した献立の中から、バランスの良い献立を選び、6年生献立として実施する。	・6年生は低学年も食べられるような内容を考えて、献立を作成していた。低学年に対して、思いやりの気持ちを育むことができた。 ・他学年は6年生に対して、感謝の気持ちを持つことができた。	・コロナ禍であったため、6年生ひとりひとりが献立を作成した後にグループ学習ができなかった。			
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○中学校・特別支援学校

- | | | | | | |
|-------|-------------|---------|-------------|--------|---------|
| 【西 区】 | ・馬宮中学校 | ・大宮西中学校 | ・宮前中学校 | ・土屋中学校 | |
| 【北 区】 | ・泰平中学校 | | | | |
| 【大宮区】 | ・大宮北中学校 | ・桜木中学校 | ・三橋中学校 | ・大成中学校 | ・第二東中学校 |
| | ・大宮国際中等教育学校 | | | | |
| 【見沼区】 | ・七里中学校 | ・春野中学校 | | | |
| 【中央区】 | ・与野南中学校 | | | | |
| 【桜 区】 | ・土合中学校 | | | | |
| 【浦和区】 | ・木崎中学校 | ・本太中学校 | ・浦和中学校 | | |
| 【南 区】 | ・岸中学校 | ・内谷中学校 | | | |
| 【緑 区】 | ・美園中学校 | ・尾間木中学校 | ・さくら草特別支援学校 | | |
| 【岩槻区】 | ・岩槻中学校 | ・川通中学校 | ・城南中学校 | | |

※小学校の食育取組状況は P28～40

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和2年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
馬宮中学校	新規	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全生徒 410人	実施日:令和2年6月～令和3年3月 場所:各教室 内容:毎月19日の食育の日に、日本各地の郷土料理や地場産物を食材として取り入れた献立作成をおこなった。	給食の献立をモデルとして栄養バランスや献立の統一感を整える献立作成について、理解を深めることが出来た。作成した献立の中からバランスの取れ優れた献立について、給食の献立に取り入れた。季節ごとの日本各地の郷土料理を、新メニューとして昨年比50%増採り入れた。珍しい食材や料理を採り入れる用することで、各地域の特色や流通への知識・理解及び職への興味・関心を高めることができた。各クラスへの配付プリントを、今年度よりカラーとすることで、視覚的に生徒の興味を高められるよう工夫した。	献立作成についての理解度については、個人差が激しい。家庭科の授業だけに留まらず、毎日の給食の献立内容や、献立表、食育だより、放送資料などの充実をはかることで、食への興味関心や理解を深めるように努力した。新しい献立や珍しい食材を使用した結果、単価が上がってしまう。給食費の調整を、計画的に行う必要性がある。	
協働	(新規)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
大宮西中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:第2学年全生徒 152人	実施日:2学期、3学期 場所:大宮西中学校 内容:2年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に食事の内容について学ぶ中で、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の給食に対する興味関心が高まり、残食減少につながった。	特になし	
協働	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
宮前中学校	家庭科の授業における食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:第1学年全生徒 159人	実施日:2学期 場所:さいたま市立宮前中学校 内容:中学生に必要な栄養・健康的な食生活について復習し、生徒それぞれが1日分の食事の計画を作成した。	中学生に必要な栄養・食事の計画を食品群別摂取量を踏まえて学習で来た。	生徒は、食事と健康が密接にかかわっていることは理解できていたが、苦手な食品、料理を食べようとする意欲が低い生徒もいた。	実際の給食のスライドを見せながら、中学生に必要な栄養について説明しました。
協働	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
宮前中学校	家庭科の授業における食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:第2学年全生徒 163人	実施日:2学期 場所:さいたま市立宮前中学校 内容:家庭科の授業で調理の基本的復習をした後、焼き魚・肉を使った汁物の調理実習を行った。	調理の基本を復習しながら、安全・衛生に注意して、各自が調理を行えた。	感染症対策のため、家庭科教員、アシスタントティーチャー、栄養教諭と3名での指導となった。複数の教員が必要な実習となった。	家庭で生徒が調理をすることは少ないと思った。実際に調理作業をしてみると、調理に関心があり、楽しく実習ができた。
協働	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
土屋中学校	授業における食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:2学年生徒 167人	実施日:2020年5月～2020年9月 場所:家庭科調理室、コンピュータ室 内容:家庭科教諭による授業:食生活と自立 食事の計画 調理をしよう 肉の調理・魚の調理・野菜の調理	中学生に必要な栄養、調理の計画を食品群別摂取量を踏まえて、学習できた。作成した献立を給食に取り入れた。肉、魚、野菜それぞれの特徴や調理上の取扱い方や調理実習を通して、安全な調理方法や調理の基本を学習できた。	生徒は、食事と健康は、密接にかかわっていることは理解できたが、給食で、苦手な野菜料理を残さず食べることは、実践できていない生徒も多数いる。	調理実習では、鰯の手開きを行い、鰯のムニエルの調理を行った。上手にできた生徒は、鰯の手開きの苦手な生徒に教えるなど、協力していた。生徒にとって、効率的で衛生的な調理、美味しい料理を自ら作る作業は、食生活と自立という家庭科の授業でとても大切なことだと感じた。
協働	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
泰平中学校	つぼみの日給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校生徒・教職員 453人	実施日:2020年10月29日 場所:各教室 内容:小中一貫教育つぼみの日に、学区内2校の小学校と共通の献立を実施した。	小中学校で共通の献立を食べることで、新入生を歓迎する気持ちを高めることができた。	配布物や給食時の放送で献立の意図や生徒への思いを伝えたが、より効果的な方法を検討したい。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など									
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ		実績 (令和2年度)											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題					
泰平中学校	1年生家庭科食事の計画	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳以上	対象:1学年生徒 136名	実施日:2020年10月 場所:各教室 内容:中学生の1日に必要な食事内容について学び、給食一食分の献立を作成する。作成した献立の中から、生徒の見本となる献立を給食に取り入れ、提供した。	生徒が作成した献立を実際の給食に取り入れることで、食に対する興味関心が高まった。	掲示物などを活用し、生徒が学習内容を振り返り、深める場面を作りたい。		
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
大宮北中学校	1年生家庭科栄養バランスの良い1日の献立作り	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳以上	対象:1年生 117人	実施日:2学期 場所:教室 内容:小学校で学んできた栄養について振り返り、さらに深く食品や栄養について学習し、中学生の1日に必要な栄養を賅えるような献立作成を実施した。	成長期に必要な栄養について考えることができ、好き嫌いだけでなくバランスを考え、食生活について関心を持つようになった。	意識は持つようになったが、給食を見ると、野菜や海藻などの残食率が高かった。給食と連携をとるなど、より効果的な学習方法を取り入れたい。		
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
大宮北中学校	生徒会朝礼「かぜをひかない体を食から作ろう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校生徒 317人	実施日:1月21日 場所:教室(放送及び給食委員による指導) 内容:給食委員会主催の朝礼で、風邪予防のための食材や食生活等を紹介した。また、給食委員が考えた給食献立(栄養職員監修)を発表し2月の給食に取り入れるようにした。	冬が旬の野菜などの食材を知ることができ、風邪やインフルエンザ対策にも役立つことが理解できた。さらに、SDGsの目標と関連させ、飢餓や栄養と給食に関する考えをもたせた。	給食週間に合わせたの発表なので、より給食についてのアピールをしたい。		
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
桜木中学校	給食の献立を考えよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳以上	対象:中学1年生 138人	実施日:2020年6月 場所:コンピューター室 内容:1年生の家庭科の授業の中で学校栄養士とTTによる授業を行った。①何をそれだけ摂ればよいのか栄養バランスを考える。②学校給食の特性である大量調理から、調理作業、安心安全等を考えて作成する。生徒が考えた献立から数点実際の給食の献立に取り入れて実施した。	成長期に必要な栄養について配慮し、栄養バランスが良い献立を考え、実際に給食に取り入れることで、食生活に興味関心を持てた。給食の献立に多く使用されている食品の必要性について理解を深めることができた。	何をどれだけ食べれば栄養バランスが良いのか。何を(食品の種類)は理解できたが、どれだけ(分量)が理解できていない。分量が理解できる教材教具の工夫が必要である。		
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
三橋中学校	TTによる食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳以上	対象:中学1年 中学2年 305人	実施日:令和2年11月～令和3年2月 場所:各教室 内容:中学生の食習慣(主に朝食の重要性について)	朝食の重要性について理解した上で、自分の朝食を振り返り、毎日主食、主菜、副菜バランスよくするために、どのような生活をしていけば良いのか考えさせる機会を与えることができた。	一部の生徒は朝食を自分で作ったり、前日までに用意したりして、授業内容と実生活と結びつけることができたが、家庭の事情等により変化できていない生徒もいるため、継続して食育だより等も活用し、家庭と連携しながら指導をしていく必要がある。	感想用紙より ・朝ご飯を食べると脳や体に良いことがたくさんあると分かった。パンやご飯だけしか食べてない日が多いので、昨日の夕飯の残りや作り置きなどを使ってバランスのよい食習慣を心掛けていきたいと思った。 ・朝起きることが苦手で朝ご飯を食べられていないので、朝ご飯の時間をとることができるよう、早く寝て生活リズムを整えていきたいと思った。	
協働—	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
三橋中学校	給食週間TTによる食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳以上	対象:中学2年 102人	実施日:令和3年1月～2月 場所:各教室 内容:クラス担任と道徳の授業を行い、命の大切さ、食べ物や食品に関わる人々への感謝の気持ちを育む。	食べ物や食品に関わる人々へ感謝の心を育てるきっかけを作ることができた。給食の残食率も低下させることができた。	特になし	感想用紙より ・当たり前に見える食べ物にも命があったのだから、感謝をして食べていかなければいけないと思った。 ・動物を殺してしまうのはとてもかわいそうだけど、私たちが生きていくためには命をいただくかなければいけないので、好き嫌いをせずにちゃんと食べていこうと思った。 ・料理を作ってくれている人に感謝の気持ちこめて挨拶をしていきたいと思った。	
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標											実績 (令和2年度)		成果	課題								
		5つの「食べる」					対象ライフステージ						対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容										
三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題								
大成中学校	感謝の会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校・生徒 職員 430人	実施日: 実施できなかった(予定日:12月-1月-2月) 場所: 体育館 内容: 給食の栄養バランス、食事への感謝、食品ロスについて			詳細は未定であるが、同様の内容で取組を実施する予定
第二東中学校	おはなし給食 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 全校生徒・職員 590人	実施日: 令和2年12月14日・15日・16日 場所: 第二東中学校 内容: 図書室に置いてある本に出てくる料理を給食で再現する。 ①アリアケのハヤシライス(「流星の絆」) ②ノギ屋の鶏飯(「精霊の守り人」) ③タンダの山菜鍋(「精霊の守り人」) ④かぼちゃ蒸しパン(「ぐりとぐらとすみれちゃん」)	・実際に借りることのできる本と結びつけたことにより、献立や使っている食材にも興味をもつ生徒が増えた。	今回は初めてだったこともあり栄養教諭と図書館司書のみの打ち合わせで行ったため、委員会での活動にできるとよかった。	
第二東中学校	受験期の食事に関する授業 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 3学年生徒 179人	実施日: 令和2年11月26日・27日 場所: 3学年各教室 内容: 受験間近で生活習慣や食生活が乱れてくる時期なので、受験に向けた体調管理を食事の面から伝える。朝食、間食、カフェインについてなど	・事前アンケートをもとに行ったことで、自分の食生活を振り返り、改善しようとする意欲がみられた。	パワーポイントをテレビに映して行ったが、見えにくい部分があったようなので改善が必要。	
大宮国際中等教育学校	食育授業 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 中学1年生 160人	実施日: 令和2年12月7日(月) 場所: 大宮国際中等教育学校 内容: 給食について(栄養管理・衛生管理・調理等、使用食材について)の動画視聴後、感謝のメッセージ作成	食を大切に作る心や、感謝の心を育てるきっかけとなった。	継続して意識付けしていくことが課題である。	
大宮国際中等教育学校	食育授業 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 中学2年生 160人	実施日: 令和3年2月3日(水) 場所: 大宮国際中等教育学校 内容: 生徒による給食の残食データをもとにした発表、栄養教諭による給食について(栄養管理・衛生管理・調理等、使用食材について)の講話、日々の給食が作られるまでの動画視聴	食を大切に作る心や、フードロスについて考えるきっかけとなった。	継続して意識付けしていくことが課題である。	
七里中学校	防災給食体験 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 本校生徒 職員保護者 1回 284人	実施日: 2021年1月25日(月)、3月5日(金) 場所: 七里中学校 内容: さいたま市の防災備蓄米(アルファ米)の作り方を知るとともに、食品の衛生的な扱いを学ぶ。	給食委員が代表で作成。1年生はその様子を全員で見学。安全担当の先生の話と県のパンフレットを防災課よりいただき配付。試食会で保護者にも体験していただいた。	初めての1年生は勿論、2、3年生も年1回で記憶が薄れているよう。毎年何らかの形で取り組めるといい。	アンケートより ・思ったよりおいしかった。 ・作り方がわかって楽しかった。 ・いざというときに役立つ。

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和2年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
七里中学校	給食委員会によるキャンペーン活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:本校生徒職員1回300人	実施日:2020年1月27日(月)～1月31日(金) 場所:七里中学校 内容:1日目は1品、2日目は2品と品数を増やしていき、残食を減らしていく取組。校内放送で残食率を発表してもらったり、すべてのクラスに賞状を授与した。	日ごろからあまり食べないクラスが、頑張っって食べようとする努力が見られ、残食が減った。	キャンペーンが終わった後、残食が増えてしまう。	給食委員の生徒が、呼びかけやおかわりを配ったりとよく活動した。
協働	(新規)	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—			
春野中学校	絵本とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校生徒600人	実施日:令和2年12月 場所:春野中学校 内容:生徒の給食委員会、図書委員会、放送委員会がコラボ企画をし、実施した。学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。また、放送委員が、給食時に読み聞かせを行った。	本校生徒が興味関心のある絵本を活用して、給食の時間に放送委員会の生徒が読み聞かせを行った。普段とは違った角度から食に親しむきっかけになった。生徒も懐かしんで食べることができ、食への興味関心が高まった。	・より多くの絵本から、献立を作成し、来年度へも繋げていきたい。	
協働	(新規)	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
春野中学校	食育新聞(郷土料理調べ)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校生徒600人	実施日:1月 場所:春野中学校 内容:日本各地の郷土料理を給食で提供するため、調べ学習を行った。新聞を作成し、生徒昇降口に掲示し、その県の食文化の紹介や料理の説明をした。	各地の郷土料理を味だけでなく、写真やイラストを取り入れることで、視覚的に伝えることができた。	生徒が調べたことに対して、いかにアレンジして給食を提供することができるか検討が必要である。	
協働	(新規)	—	—	○	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
与野南中学校	学校給食を通じた食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校生徒	実施日:毎日 場所:各教室 内容:給食時間の全校放送を通して、当日の献立に使用した地場産物の紹介や栄養、また、生徒にとって身近な学校行事を絡めながら、体のコンディションづくりと食との関係を伝えた	・生徒の食への関心を高めることができた。 ・地元の食材を給食に取り入れ紹介していくことで、農家や生産者の方への感謝の気持ちや地場産物に対する意識が高まった。		
協働	(継続)	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
土合中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校生徒	実施日:2021年1月22日～1月29日 場所:校内 内容:給食集会を行い、給食室の様子を紹介。調理員さんへの感謝の色紙の作成。リクエスト献立の実施	給食に従事する人への感謝の気持ち、食べられることへの感謝の気持ちを育てるきっかけになった。リクエスト献立を実施することにより、給食への興味関心、残さず食べようという気持ちを促すことができた。		
協働	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
木崎中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:木崎中学校全生徒792人	実施日:2021年1月22日(金)～29日(金) 場所:さいたま市立木崎中学校 内容:給食委員を中心に調理員さんへの感謝の色紙の作成	生徒全員で取り組むことにより、一人ひとりが食事ができることへの感謝の気持ちを持つことが出来た。	3年生の私立高校の入試と重なる期間があり、色紙の作成に時間がかかるクラスがあったため、私立入試の時期をずらすなど、落ち着いた取り組める期間を設定していく。	
協働										○														

さいたま市の食育取組状況 令和2年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		目標					5つの「食べる」					実績 (令和2年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
本太中学校	図書館コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象: 700人	実施日:2月1日~3月 場所:本太中学校 内容:本太中学校の図書館にある本のなかから、司書の先生や図書委員会の生徒が、食べてみたい食事が、読んでほしい本を選び、給食で再現し、図書委員の生徒が放送により内容について放送する。	本への興味が、給食をとおして深まった。	今年度は、コロナ禍で前期の委員会活動に制限があり難しかった。来年度は読書月間に合わせた開催としたい。	
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—				
本太中学校	給食週間取組	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象: 700人	実施日:全国学校給食週間 場所:本太中学校 内容:1週間をとおして、給食委員会を中心に、①給食週間について②調理員へのインタビュー③給食標語の発表④私たちの食・本太中学校の給食についてなど、SDGsをからめ調べたことなどを昼の放送や掲示物を作成し取り組んだ。	調理員のインタビューや栄養教諭の話から、当たり前のように食べている給食や食について、考える良い機会となり、喫食率も高くなった。	給食委員会で集まって時間をかけ取り組むことができなかったで、限られた人数での取り組みとなってしまった。	
協働 —	(新規)	—	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—				
浦和中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象:第1学年全 生徒 80人	実施日:2020年7月・9月 場所:浦和中学校 内容:1年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	成長期に必要な栄養の特色を知ることで、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった。	生徒がテーマに沿って考え作成した献立について、調理作業内容とのバランスを考えながら給食献立に反映させることが必要である。	
協働	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—				
岸中学校	世界味めぐり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象: 全校児童 全教職員 650人	実施日:毎月1回 場所:学校 内容:世界各地の料理を給食で提供する。昼のテレビ放送では、給食委員会の生徒と栄養教諭がその国の食文化の紹介や料理の説明をする。	各国の文化について興味を持つようになり、毎月の実施する日を楽しみにするようになった。世界の料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	食べ慣れない味や、香辛料の臭いが苦手な生徒もいるので、本場の味に近づけることが難しい。	
協働	(継続)				○							○	○											
岸中学校	郷土料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象: 全校児童 全教職員 650人	実施日:毎月1回 場所:学校 内容:日本各地の郷土料理を給食で提供する。昼のテレビ放送では、給食委員会の生徒と栄養教諭がその県の食文化の紹介や料理の説明をする。	各地の文化に興味を持つようになり、毎月の実施する日を楽しみにするようになった。郷土料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	手に入りにくい食材や作業的に無理な料理がある。	
協働	(継続)				○							○	○											
岸中学校	生徒委員会とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象: 全校児童 全教職員 650人	実施日:①11月4日(水)②2月10日(水) 場所:各教室 内容:①図書委員が選んで考えた本の中の料理を、給食で再現し、各クラスで読み聞かせをした。献立は「アルプスの少女」からスイス料理を実施した。②体育委員と給食委員がカルシウムと運動についてTV放送で発表した。献立は生徒の考えた「カルシウムたっぷり給食」を実施した。	①本に登場する料理を食べることにより、食と読書への関心が高まり、図書室の利用率も高くなった。 ②体育と給食委員がカルシウムの重要性を発表することにより、牛乳の残食が減った。	生徒中心に行うため、計画的に取り組まないと献立や発注が間に合わない。	
協働 —	(新規)	○	○	○								○	○											

食育の目標「さいたま市5つの『食べる』」

さ 「三食しっかり」食べる

い 「いっしょに楽しく」食べる

た 「確かな目をもって」食べる

ま 「まごころに感謝して」食べる

し 「食文化や地の物を伝え合い」食べる



さいたま市食育ナビ <http://www.saitamacity-shokuiku.jp/>

食育の基礎知識、食の安全・食中毒、地産地消、学校や保育園の給食レシピ、市の施策・事業など、食育に役立つ情報を発信しています。

発行：令和3年8月
さいたま市

さいたま市保健福祉局保健部健康増進課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4
TEL:048-829-1294 FAX:048-829-1967

この冊子は300部作成し、1部あたりの作成費用は、157円（概算）です。